中国景気状況 –2026年10月–

住友商事グローバルリサーチ株式会社　経済部　2026年10月30日

Sumitomo Corporation Global Research Co. Ltd.

本資料は、住友商事グローバルリサーチ株式会社(以下、「当社」)が信頼できると判断した情報に基づいて作成しており、作成にあたっては細心の注意を払っておりますが、当社及び住友商事グループは、その情報の正確性、完全性、信頼性、安全性等において、いかなる保証もいたしません。本資料は、情報提供を目的として作成されたものであり、投資その他何らかの行動を勧誘するものではありません。また、本資料は筆者の見解に基づき作成されたものであり、当社及び住友商事グループの統一された見解ではありません。本資料の全部または一部を著作権法で認められる範囲を超えて無断で利用することはご遠慮ください。レポートに掲載された内容は予告なしに変更することがあります。

01 **中国景気の総括** 03
マクロダッシュボード

02 **実体経済動向** 04
GDP／PMI／生産・価格・在庫／家計消費／非製造業／電力需給

03 **投資・不動産・雇用・対外部門** 14
固定資産投資／不動産／労働市場／貿易・生産

04 **金融・物価・財政動向** 20
金融／卸売物価（企業物価）／消費者物価／財政

© 2026 Sumitomo Corporation Global Research Co. Ltd.

中国マクロ経済ダッシュボード（2026年10月時点）

今月の総括

- 内需の弱さが続く一方、外需とハイテク生産が景気を下支え
- PMIや公共投資関連の先行指標が改善
- 経済活動に改善の兆しも、実需への波及は限定的

総合判断（景気モメンタム）

緩やかに改善 ↗

内需の弱さが続くなか、足元の経済活動は改善傾向。ただし、需要の広がりと持続性は限定的

主要マクロ経済指標（景気モメンタム）

注：景気基調＝4四半期比較、足元変化＝前回値比較、足元動向＝短期トレンド比較、中期動向＝半年トレンド比較

凡例：↑ 改善（トレンド上向き） → 横ばい ↓ 悪化（トレンド下向き）
注：矢印は各指標のモメンタム評価

GDP成長率（前年比）	製造業PMI	社会消費財小売（前年比）	工業増加値（前年比）	輸出（前年比）	不動産開発投資（前年比・累計）	CPI（前年比）	都市部調査失業率
4.5	50.1	1.1	5.5	16.4	-20.6	0.9	5.2
2026/9	2026/9	2026/9	2026/9	2026/9	2026/9	2026/9	2026/9
景気基調 ↓	足元変化 ↑	足元動向 ↑	足元動向 ↑	中期動向 ↑	足元動向 ↓	足元変化 ↑	足元変化 →

景気ヒートマップ（分野別の景況判断）

凡例：↑ 改善 → 横ばい ↓ 悪化

消費	生産・製造	投資（除く不動産）	不動産	外需（貿易）	金融・流動性	雇用
↑	↑	↓	↓	↑	↓	→
サービスは底堅いが、耐久財を中心に消費は低迷	在庫調整とハイテク生産が支え、足元は改善	政策支援に期待も、幅広い投資の減少が続く	販売・価格の低迷が続き、開発投資も減少	輸出額は急伸も、価格要因や駆け込み需要に依存	政策金融は進展も、実体経済への波及は不透明	雇用指標は弱く、所得への波及も不透明

景気先行きの注目ポイント

- 補助金に依存しない個人消費の回復
- 固定資産投資の回復動向
- 政策による事業着工・投資への反映
- 雇用・所得改善の個人消費への波及
- 輸出動向

注：矢印・色は各指標の評価基準に基づく判断
（出所：中国国家統計局、中国物流･購買連合会、中華人民共和国税関総局、Bloombergより住友商事グローバルリサーチ（SCGR）作成）
注：各指標は2026年10月時点の最新公表値を使用。公表時期により対象月は異なる

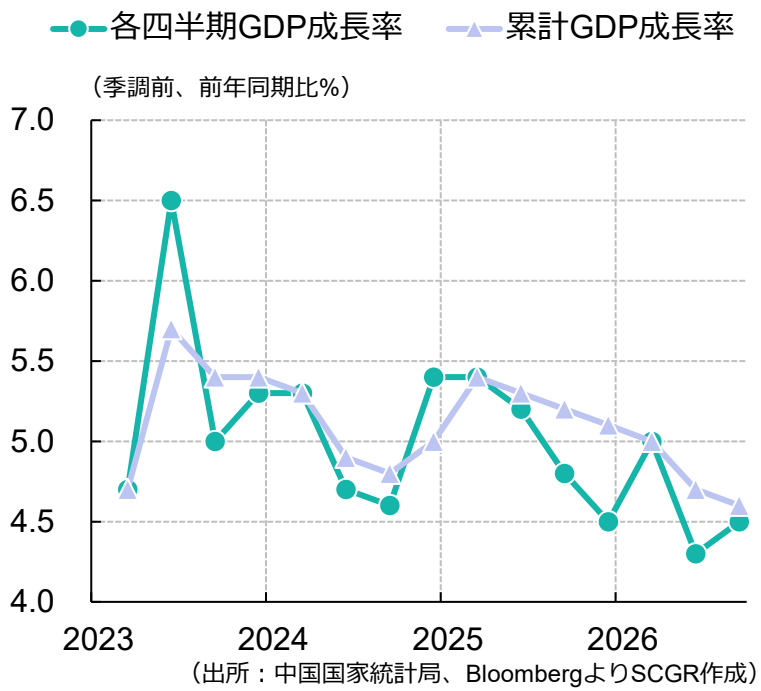
© 2026 Sumitomo Corporation Global Research Co. Ltd.

GDP成長率

- 実質GDP成長率は減速し、年初来累計でも伸びは鈍化
- 第三次産業が下支えする一方、第二次産業は減速
- 地域・産業間の成長格差が鮮明に

実質GDP成長率

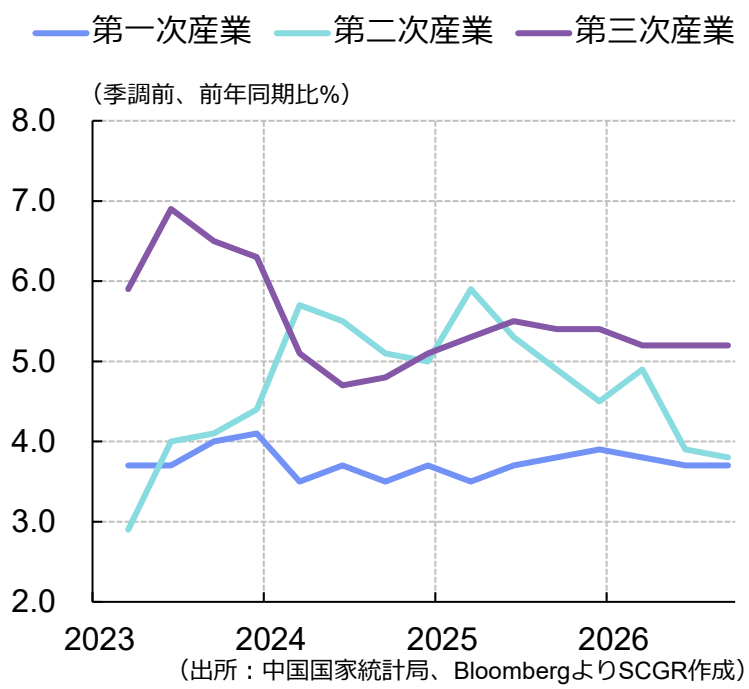
- 四半期成長率は減速傾向
- 累計成長率も緩やかに低下
- 景気回復の勢いは弱い



（出所：中国国家統計局、BloombergよりSCGR作成）

産業別GDP成長率推移（年初来累計）

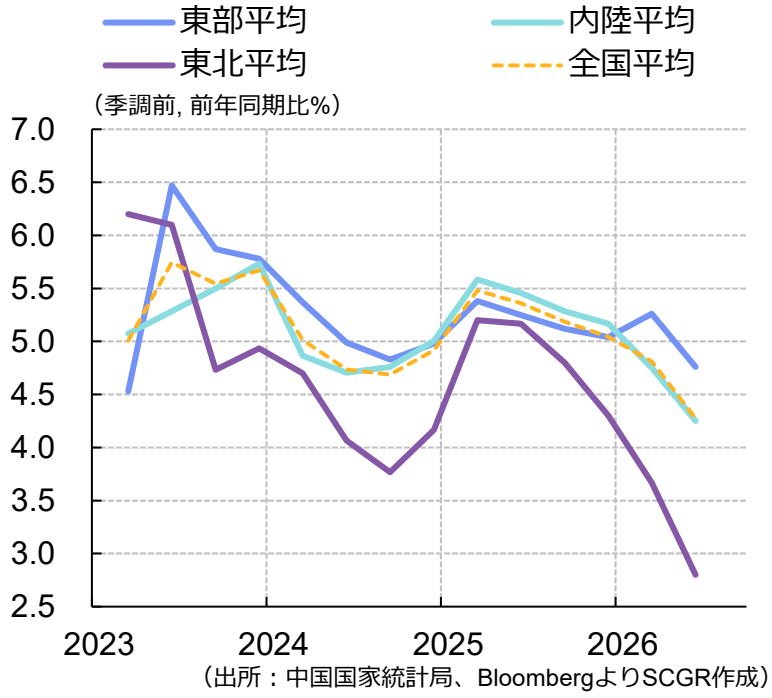
- 第二次産業の成長率が低下
- 第三次産業は相対的に堅調
- サービス業が成長を下支え



（出所：中国国家統計局、BloombergよりSCGR作成）

地域別GDP成長率推移（年初来累計）

- 地域間の成長格差が鮮明
- 東部・内陸部は全国並みの成長
- 東北部の成長率は大きく低下



（出所：中国国家統計局、BloombergよりSCGR作成）

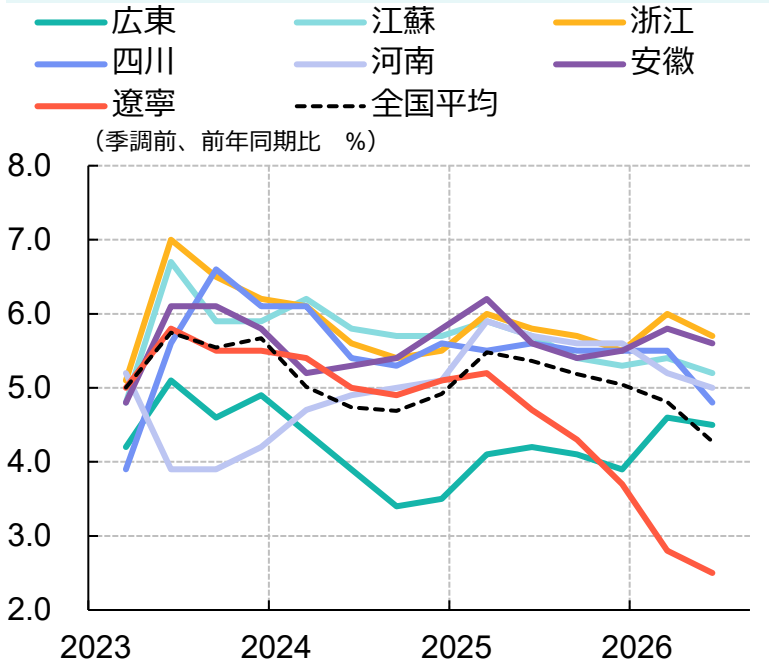
© 2026 Sumitomo Corporation Global Research Co. Ltd.

地域別GDP動向

- 主要省の成長率は全国平均付近に集中する一方、足元では地域差が再び拡大
- 沿海では上海・浙江などが相対的に高い一方、広東は低位にとどまるなど一様でない
- 東北の弱さが鮮明となり、成長を牽引する地域は一部に偏る

省別GDP成長率推移（累計成長率）

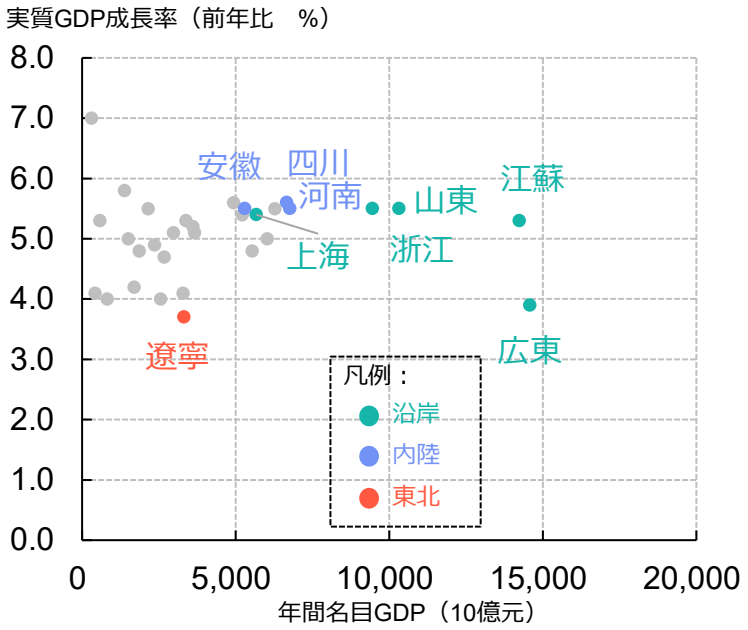
- 主要省の成長率は総じて低下
- 沿海・内陸の一部は全国平均を上回る
- 遼寧の落ち込みが地域差拡大の一因



（出所：中国国家統計局、BloombergよりSCGR作成）

中国主要省のGDP規模と成長率（2025年）

- 経済規模の大きい省でも成長率に差が残る
- 江蘇・浙江は広東を上回る成長
- 経済規模と成長率は必ずしも一致しない

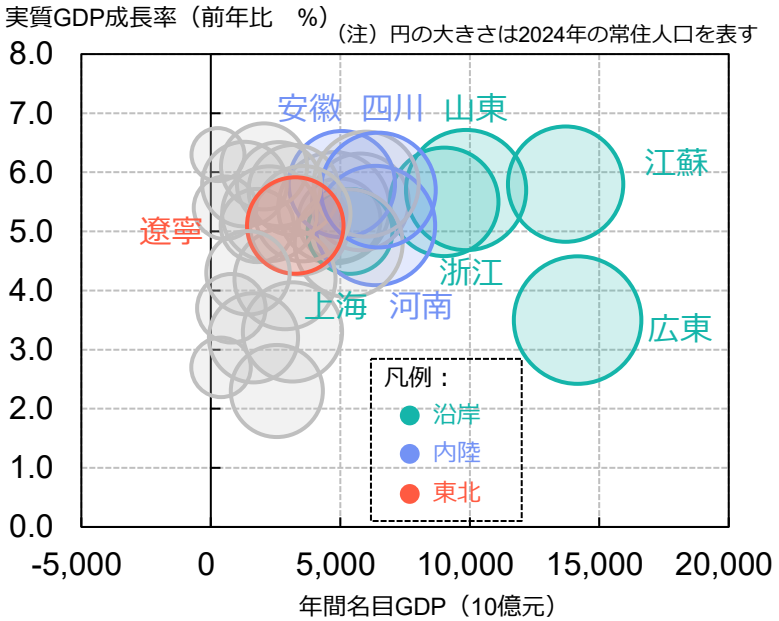


（出所：中国国家統計局、BloombergよりSCGR作成）

中国経済の地域分化

- 沿海主要省でも成長率にばらつき
- 江蘇は規模・成長率とも相対的に高い
- 成長の牽引役は一部の省に偏る

― 主要省のGDP規模・成長率・人口（2024年）―



（出所：中国国家統計局、BloombergよりSCGR作成）

© 2026 Sumitomo Corporation Global Research Co. Ltd.

中国経済の地域分化 ― 省別GDP成長率年次ヒートマップ ―

- 地域別では中西部の高成長と沿海部の鈍化が併存し、成長のばらつきが続く
- 安徽など一部地域は相対的に高成長を維持する一方、東北は伸び悩みが継続
- 地域間格差の拡大が続くかが全国成長の持続性をみる上での確認点

単位：実質GDP成長率（前年比%）

地域	省・市	特性	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025
全国平均			**7.8**	**7.4**	**7.1**	**6.8**	**6.5**	**2.8**	**7.9**	**2.8**	**5.7**	**4.9**	**5.0**
沿岸	北京	政策の中心、IT産業	6.9	7.0	7.0	6.9	6.4	1.4	9.2	1.0	5.5	5.1	5.4
	天津	不動産	6.9	5.8	3.2	3.2	4.8	1.5	6.8	1.2	4.5	4.9	4.8
	上海	金融・サービス	7.0	7.1	7.2	6.9	6.3	2.0	8.7	0.2	5.3	4.9	5.4
	広東	製造業　輸出産業	8.0	7.8	7.5	6.7	6.3	2.4	8.3	2.1	4.9	3.5	3.9
	江蘇	高度化製造業	8.6	7.6	7.0	6.5	6.0	3.8	9.1	2.7	5.9	5.7	5.3
	浙江	民間企業　デジタル関連	8.0	7.7	7.8	7.3	7.0	3.8	8.9	3.4	6.2	5.5	5.5
	山東	重工業　素材産業	7.8	7.5	7.5	6.5	5.4	3.6	8.5	4.0	6.1	5.6	5.5
	福建	輸出	8.9	8.2	7.9	8.1	7.5	3.2	8.3	4.2	4.5	5.4	5.0
中部	河南	内需	8.4	8.4	7.6	7.6	6.8	1.1	5.9	2.4	4.2	5.1	5.6
	湖北	鉄鋼業　自動車	8.6	8.2	7.8	7.6	7.3	-5.4	12.9	4.0	6.1	5.6	5.5
	湖南	消費市場	8.5	7.9	7.9	7.6	7.6	3.8	7.6	4.2	4.7	4.7	4.8
	安徽	EV・電子部品関連	8.7	8.6	8.4	7.8	7.4	3.7	8.2	3.3	5.8	5.8	5.5
	江西	製造業	9.1	8.8	8.6	8.5	7.9	3.8	8.9	4.3	4.2	5.1	5.2
西部	重慶	製造業	11.0	10.5	9.1	5.9	6.3	3.9	8.4	2.5	6.2	5.6	5.3
	四川	製造業	7.9	7.6	7.9	7.8	7.4	3.8	8.3	2.9	6.1	5.6	5.5
	陝西	IT関連	7.7	7.5	7.7	8.2	6.1	2.1	6.7	4.5	4.3	5.2	5.1
	貴州	小規模経済	10.7	10.4	10.1	8.9	8.4	4.6	8.3	1.2	5.1	5.3	4.9
東北	遼寧	重工業	2.8	0.6	4.2	5.6	5.6	0.8	6.0	2.2	5.5	5.1	3.7
	吉林	製造業　自動車	6.1	6.5	5.2	4.5	3.1	2.4	6.6	-1.9	6.5	4.2	5.0
	黒竜江	天然資源	5.4	4.3	5.8	4.3	4.1	1.0	6.2	2.8	2.8	3.2	4.2

（注）暖色は期間内で相対的に高い成長率、寒色は相対的に低い成長率を示す

（出所：中国国家統計局、BloombergよりSCGR作成）

© 2026 Sumitomo Corporation Global Research Co. Ltd.

中国経済の地域分化 ― 省別GDP成長率四半期ヒートマップ ―

- 2026年4－6月の全国成長率は4.3%へ鈍化し、主要省間の成長率格差も鮮明に
- 上海・深圳や浙江など、沿海部の一部地域が高い伸びを保つ一方、東北と中西部の一部は減速
- 成長を牽引する地域は限られ、全国的な成長の広がりは確認できない

単位：実質GDP成長率（前年比%）

地域	省・市	特性	2024Q2	2024Q3	2024Q4	2025Q1	2025Q2	2025Q3	2025Q4	2026Q1	2026Q2
全国平均			**4.7**	**4.7**	**4.9**	**5.5**	**5.4**	**5.2**	**5.0**	**4.8**	**4.3**
沿岸	北京	政策の中心、IT産業	5.4	5.1	5.1	5.5	5.5	5.6	5.4	5.9	5.4
	天津	不動産	4.9	4.7	4.9	5.8	5.3	4.7	4.8	5.0	4.8
	上海	金融・サービス	4.8	4.7	4.9	5.1	5.1	5.5	5.4	5.9	5.6
	広東	製造業　輸出産業	3.9	3.4	3.5	4.1	4.2	4.1	3.9	4.6	4.5
	深圳	イノベーション・ハブ	5.9	5.4	5.8	5.2	5.1	5.5	5.5	5.8	5.8
	江蘇	高度化製造業	5.8	5.7	5.7	5.9	5.7	5.4	5.3	5.4	5.2
	浙江	民間企業　デジタル関連	5.6	5.4	5.5	6.0	5.8	5.7	5.5	6.0	5.7
	山東	重工業　素材産業	5.8	5.6	5.6	6.0	5.6	5.6	5.5	6.0	5.6
	福建	輸出	5.6	5.5	5.4	5.7	5.7	5.2	5.0	5.1	4.0
中部	河南	内需	4.9	5.0	5.1	5.9	5.7	5.6	5.6	5.2	5.0
	湖北	鉄鋼業　自動車	5.8	5.7	5.6	6.3	6.2	6.0	5.5	5.4	5.0
	湖南	消費市場	4.5	4.5	4.7	5.4	5.6	5.4	4.8	3.0	2.7
	安徽	EV・電子部品関連	5.3	5.4	5.8	6.2	5.6	5.4	5.5	5.8	5.6
	江西	製造業	4.5	4.7	5.1	5.7	5.6	5.4	5.2	5.0	4.0
西部	重慶	製造業	6.1	6.0	5.6	4.3	5.0	5.3	5.3	4.5	4.2
	四川	製造業	5.4	5.3	5.6	5.5	5.6	5.5	5.5	5.5	4.8
	陝西	IT関連	4.3	4.6	5.2	5.6	5.5	5.3	5.1	4.0	3.8
	貴州	小規模経済	5.3	5.2	5.3	5.3	5.3	4.9	4.9	4.7	4.0
東北	遼寧	重工業	5.0	4.9	5.1	5.2	4.7	4.3	3.7	2.8	2.5
	吉林	製造業　自動車	5.7	4.1	4.2	5.5	5.7	5.3	5.0	4.5	2.4
	黒竜江	天然資源	1.5	2.3	3.2	4.9	5.1	4.8	4.2	3.7	3.5

（注）暖色は期間内で相対的に高い成長率、寒色は相対的に低い成長率を示す

（出所：中国国家統計局、BloombergよりSCGR作成）

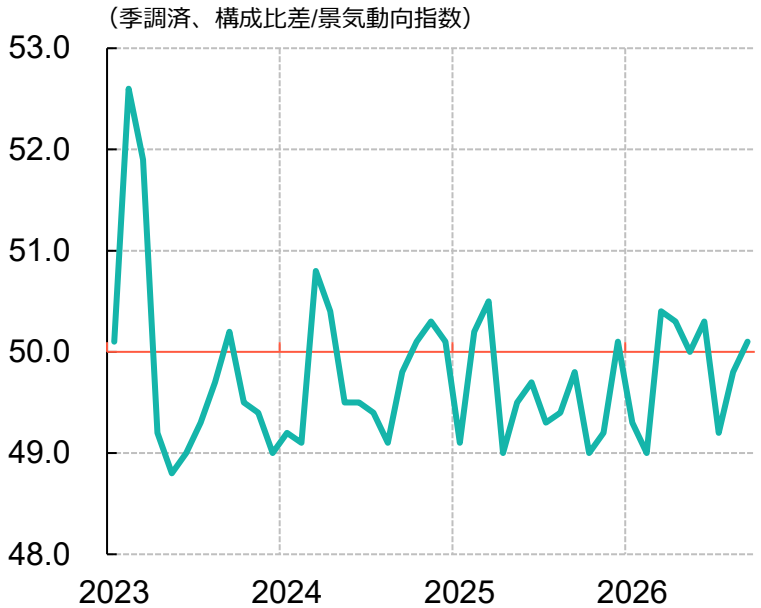
© 2026 Sumitomo Corporation Global Research Co. Ltd.

PMIの動向①

- 製造業・非製造業PMIはともに50超
- 大企業は底堅い一方、中小企業は低迷
- 景況感は改善も、回復の広がりは限定的

製造業PMI

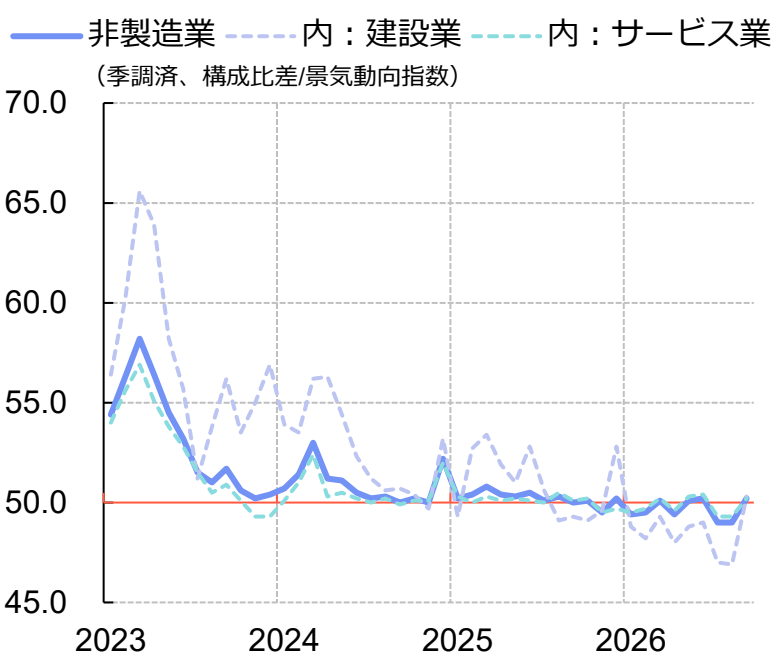
- 製造業PMIは50台を回復
- 縮小圏から拡大圏へと転換し景況感は短期的に改善



（出所：中国物流･購買連合会、BloombergよりSCGR作成）

非製造業PMI

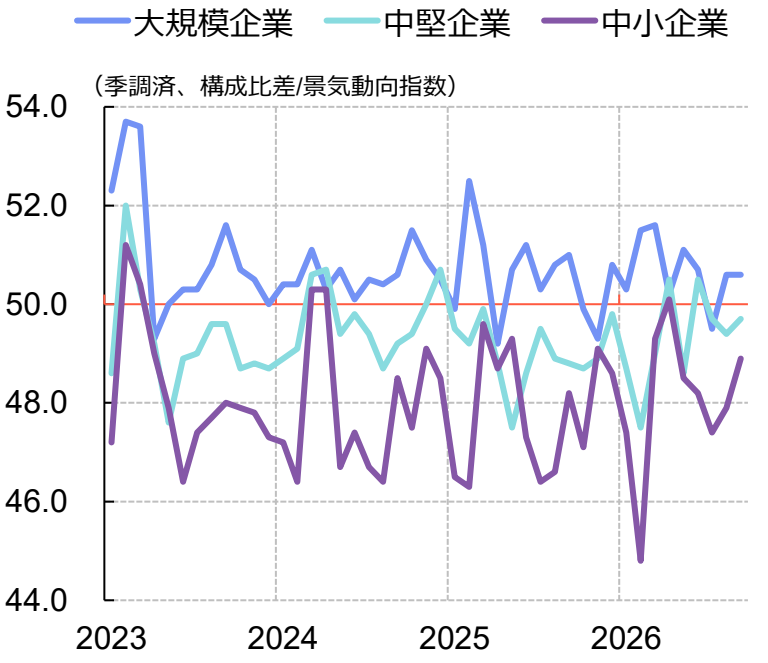
- 非製造業PMIも50台を回復
- サービス･建設業ともに小幅改善



（出所：中国物流･購買連合会、BloombergよりSCGR作成）

製造業PMI企業規模別

- 企業規模間の格差が継続
- 大企業は50を上回る水準を回復
- 一方で中小企業は依然50を下回る



（出所：中国物流･購買連合会、BloombergよりSCGR作成）

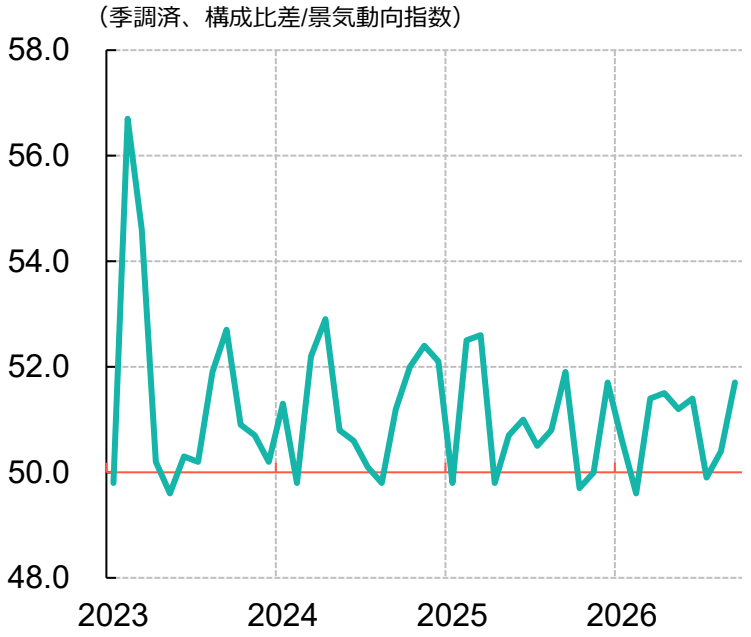
© 2026 Sumitomo Corporation Global Research Co. Ltd.

PMIの動向②（生産指数、受注指数、雇用指数の推移）

- 生産・新規受注は50を上回る一方、受注残と雇用は低迷
- 生産活動は改善も、需要の回復力はなお弱い
- 企業活動の改善は雇用に波及せず

製造業PMI生産指数

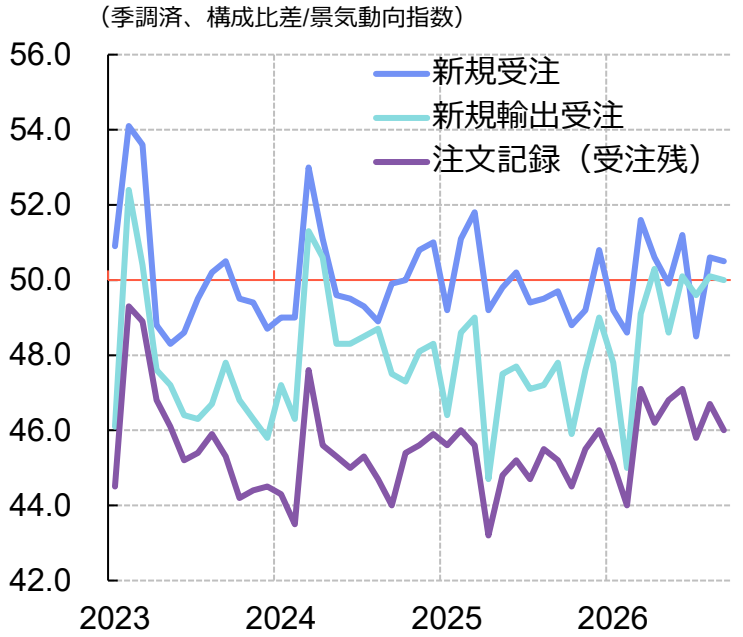
- 生産指数は50超を維持
- 生産活動は拡大傾向



（出所：中国物流･購買連合会、BloombergよりSCGR作成）

製造業PMI受注指数

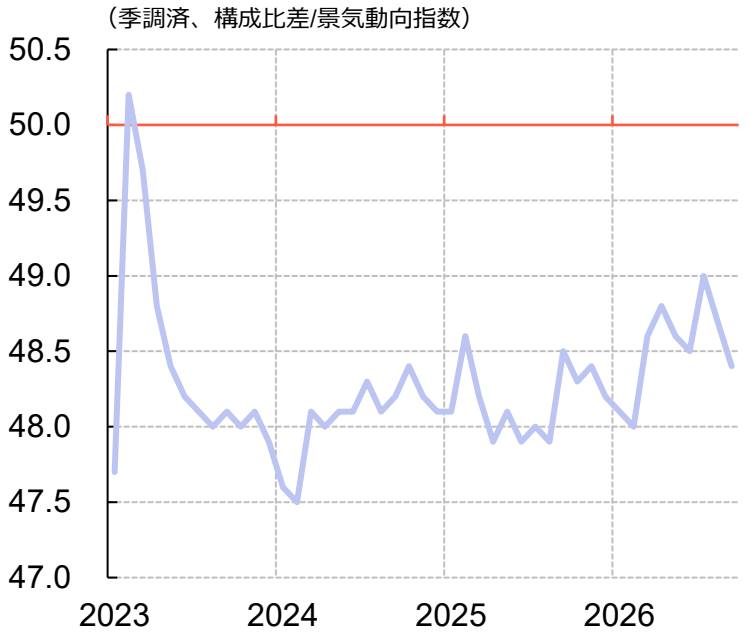
- 新規受注は50台を維持
- 受注残は縮小圏が続く
- 需要回復の勢いは総じて弱い



（出所：中国物流･購買連合会、BloombergよりSCGR作成）

製造業PMI雇用指数

- 雇用指数は50割れが継続
- 生産改善は雇用に波及せず
- 雇用環境はなお厳しい



（出所：中国物流･購買連合会、BloombergよりSCGR作成）

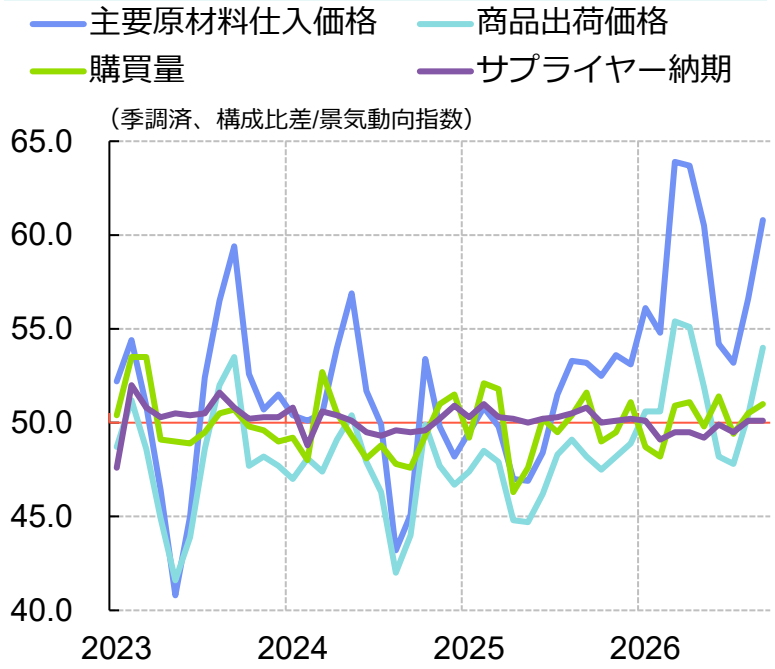
© 2026 Sumitomo Corporation Global Research Co. Ltd.

PMIの動向③（価格・在庫）

- 原材料価格は上昇する一方、出荷価格と在庫は50を下回る
- 仕入価格の上昇に対し、販売価格への転嫁は不十分
- 価格上昇はコスト要因が中心で、需要増に起因していない

製造業PMI仕販指数推移

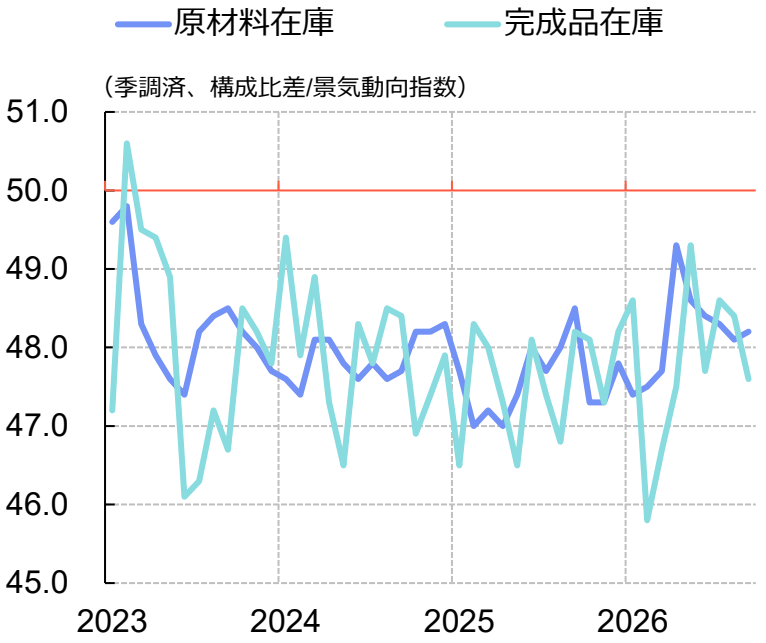
- 原材料仕入価格が大幅上昇
- 出荷価格への転嫁は限定的
- 企業収益への圧迫が懸念



（出所：中国物流･購買連合会、BloombergよりSCGR作成）

製造業PMI在庫指数推移

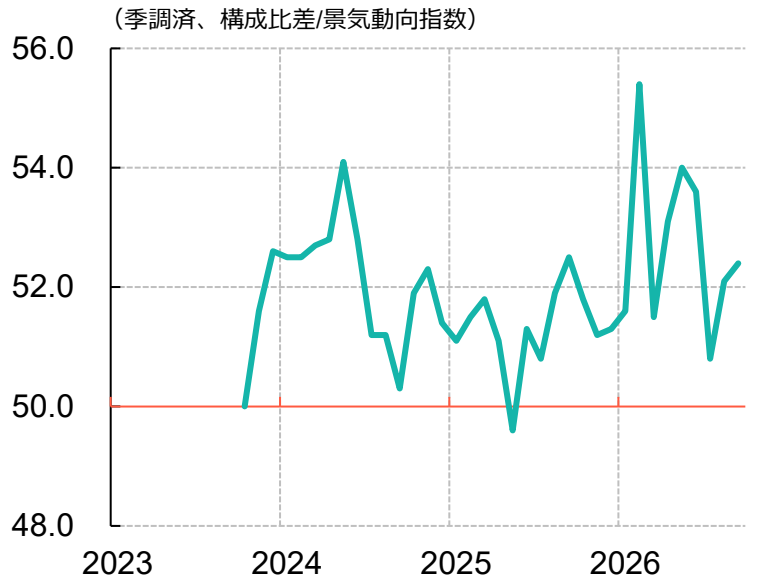
- 原材料･完成品在庫は50割れ
- 在庫の積み増しは限定的
- 企業の慎重姿勢が続く



（出所：中国物流･購買連合会、BloombergよりSCGR作成）

S&P グローバルPMI

- グローバルPMIは50超を維持
- 中国との景況感格差が続く
- 外需の強さは国内に波及せず



（出所：S&Pグローバル、BloombergよりSCGR作成）

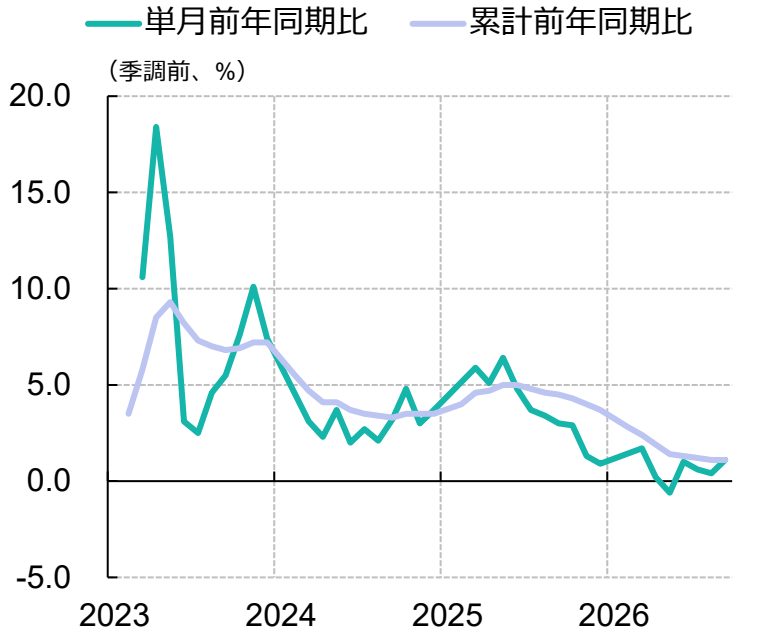
© 2026 Sumitomo Corporation Global Research Co. Ltd.

家計消費

- 小売売上高の伸びは引き続き鈍化、個人消費の弱さを示す
- 通信機器が好調な一方、自動車や住宅関連は低迷
- 品目間の格差が大きく、消費回復の広がりは限定的

社会消費財小売月次成長率

- 小売売上高の伸びは鈍化
- 累計前年比も低下傾向
- 個人消費の回復力は弱い



（出所：中国国家統計局、BloombergよりSCGR作成）

小売商品別単月前年同期比

- 品目間の格差が鮮明
- 通信機器や飲食料品が好調
- 自動車・住宅関連は低迷

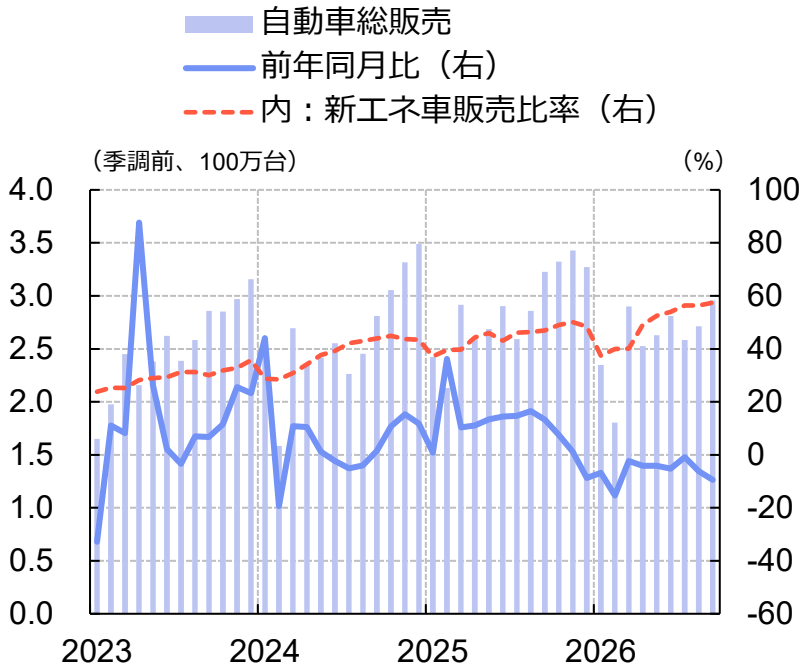
（%）

商品	Sep-26
通信機器	31.1
ｱﾙｺｰﾙ飲料・たばこ	13.8
文化・事務用品	7.9
穀物・油・食品	6.7
化粧品	5.4
飲料	5.0
漢方薬・西洋医薬品	5.0
日用品	4.1
家電製品&音声・映像機器	1.9
衣料品、履物、帽子、ﾆｯﾄｳｴｱ	1.2
石油・石油製品	-0.8
娯楽用品	-1.1
家具	-3.0
建築・装飾材	-9.2
金・銀・宝石	-9.6
自動車	-21.2

（出所：中国国家統計局、BloombergよりSCGR作成）

自動車販売

- 国内販売の前年割れが続く
- 新エネ車比率は上昇傾向
- 販売構成の変化が進む



（出所：中国自動車技術研究センター、天津、BloombergよりSCGR作成）

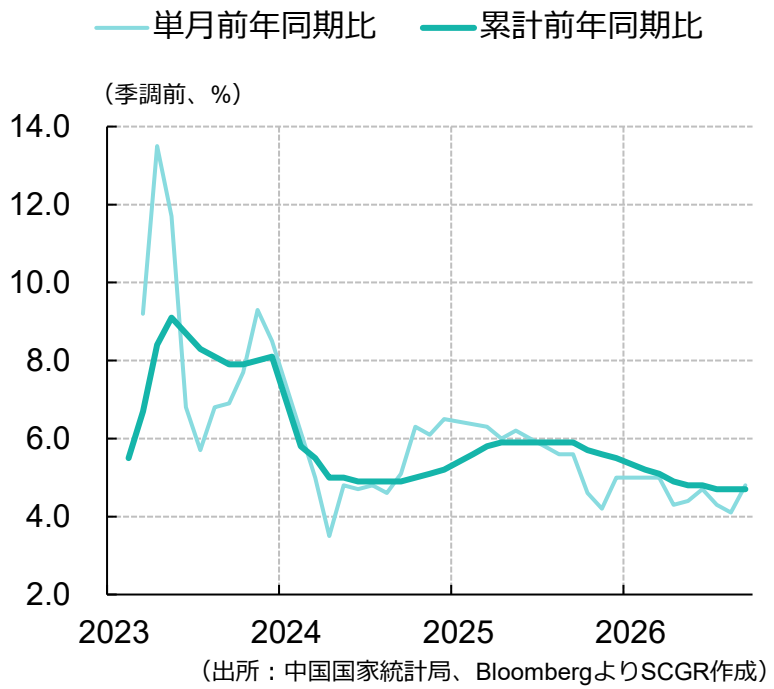
© 2026 Sumitomo Corporation Global Research Co. Ltd.

非製造業の動向

- サービス業はプラス成長も減速
- 飲食収入・旅客輸送量は増加も伸びは鈍化
- サービス需要の回復力はなお弱い

サービス業成長率

- サービス業の成長は減速
- 前年比4%台へ伸びが鈍化
- 過去の水準を下回る

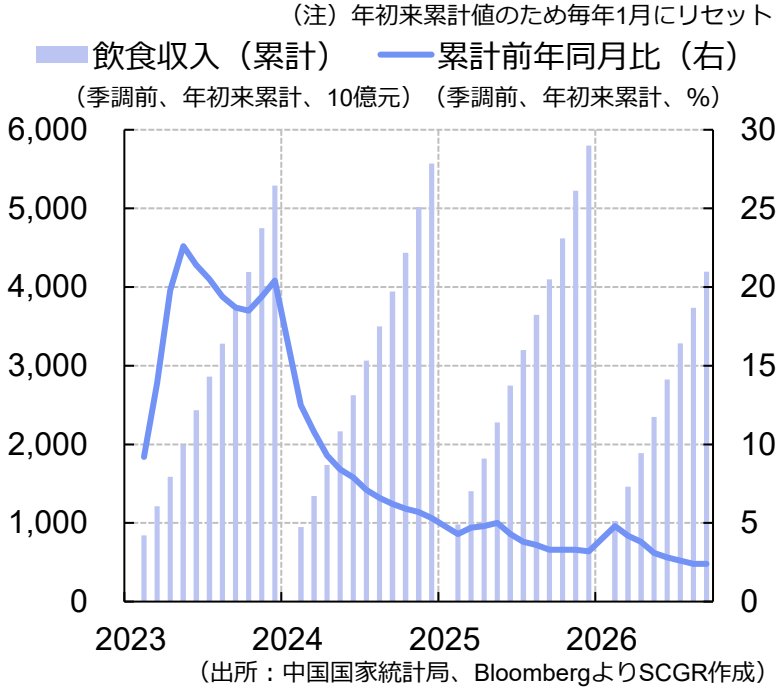


（出所：中国国家統計局、BloombergよりSCGR作成）

飲食収入（累計）

- 飲食収入は増加基調を維持
- 前年比の伸びは鈍化
- 飲食需要の回復力は弱い

（注）年初来累計値のため毎年1月にリセット

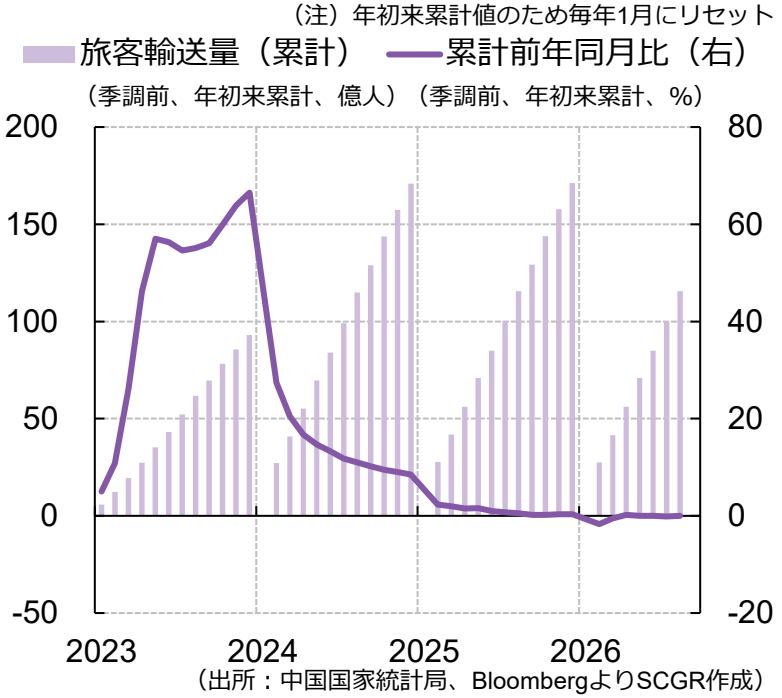


（出所：中国国家統計局、BloombergよりSCGR作成）

旅客輸送量（累計）

- 旅客輸送量は増加も、伸びは鈍化
- 前年比の伸びはゼロ近傍
- 移動需要の伸びは限定的

（注）年初来累計値のため毎年1月にリセット



（出所：中国国家統計局、BloombergよりSCGR作成）

© 2026 Sumitomo Corporation Global Research Co. Ltd.

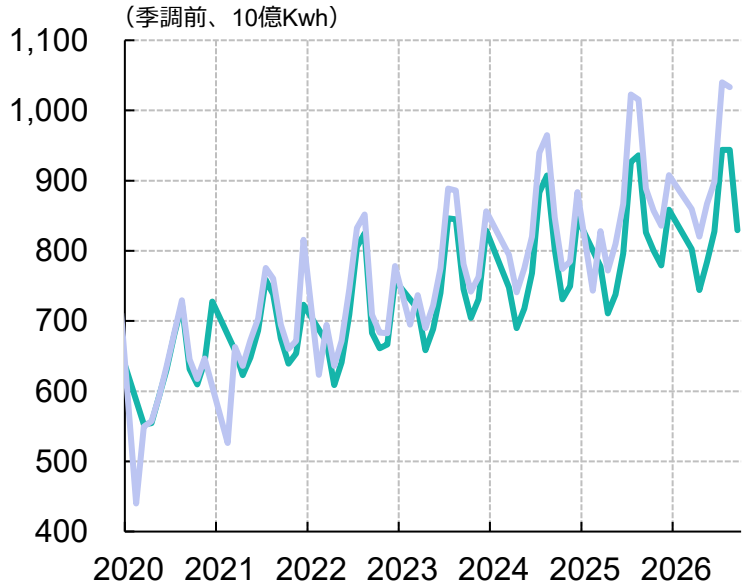
電力需給

- 発電量・電力消費量は季節変動を伴いながら増加基調
- 火力発電が中心を占め、水力なども電力供給を支える
- 電力需要は底堅いが、景気には直結しない

電力需給

- 発電量・消費量は増加基調
- 両系列は概ね連動
- 電力需給は拡大傾向

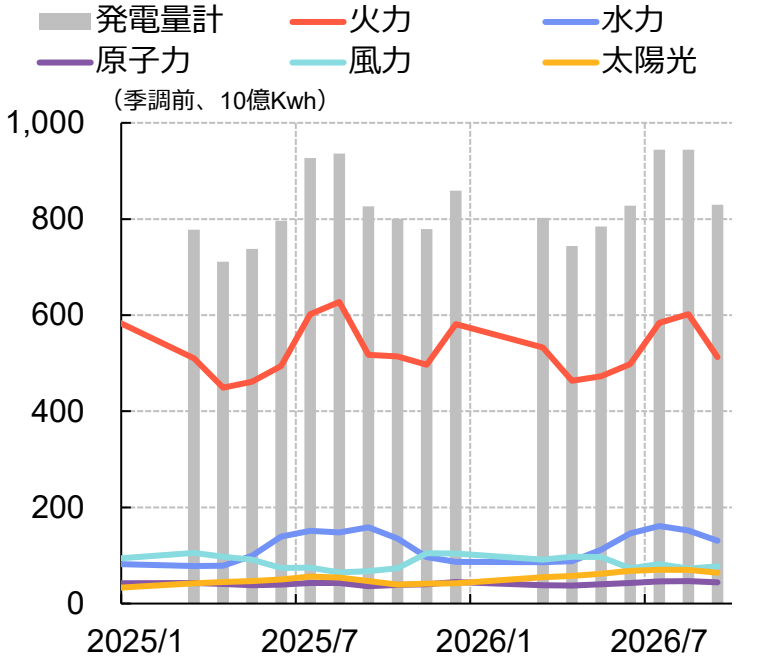
（注）各年1、2月はデータなし



電源構成

- 火力発電が最大の電源
- 水力発電は季節変動が大きい
- 電源ごとに発電動向が異なる

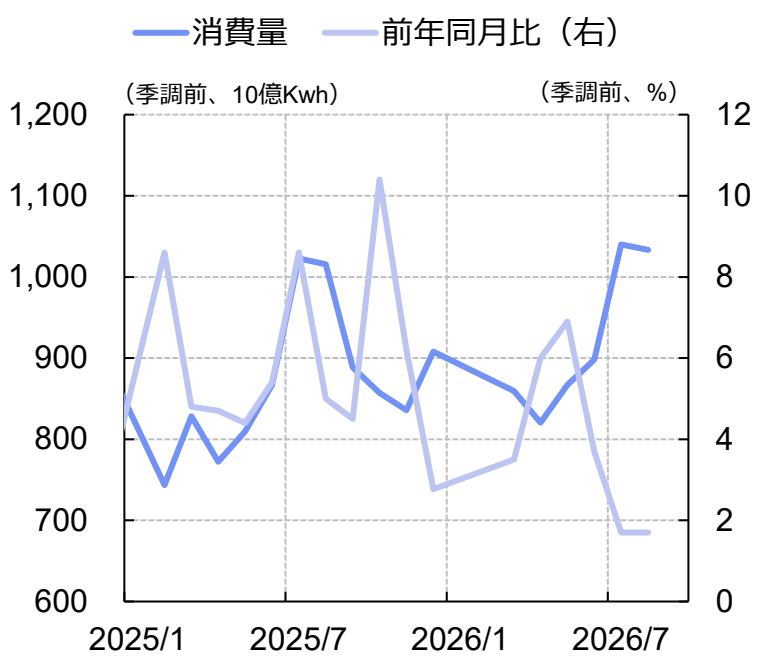
（注）各年1、2月はデータなし



電力消費量

- 電力消費量は前年比プラス
- 伸び率は月ごとに変動
- 電力需要は底堅く推移

（注）各年1、2月はデータなし



（出所：中国国家統計局、中国国家エネルギー局、BloombergよりSCGR作成）

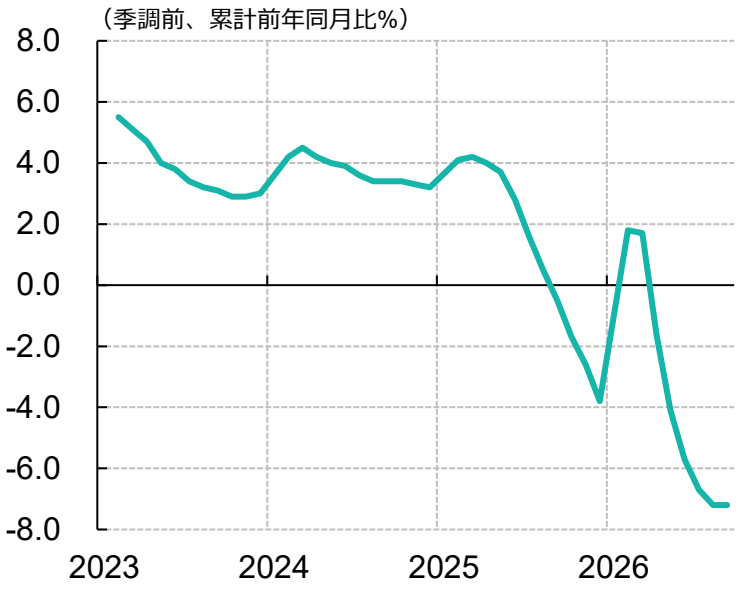
© 2026 Sumitomo Corporation Global Research Co. Ltd.

固定資産投資

- 固定資産投資の減少幅が拡大し、投資活動の低迷が続く
- 第三次産業の落ち込みが大きく、第二次産業も減少
- 輸送インフラ投資も弱い、投資回復の広がりは未だ限定的

固定資産投資の推移（年初来前年比）

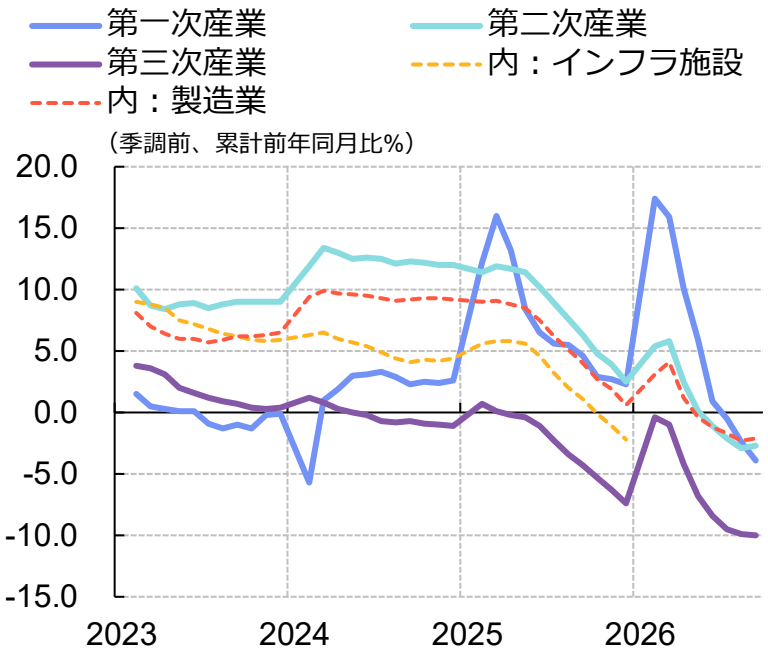
- 固定資産投資は大幅な前年割れ
- 一時的な反発後に再び悪化
- 投資の低迷が続く



（出所：中国国家統計局、BloombergよりSCGR作成）

産業別固定資産投資成長率月次推移

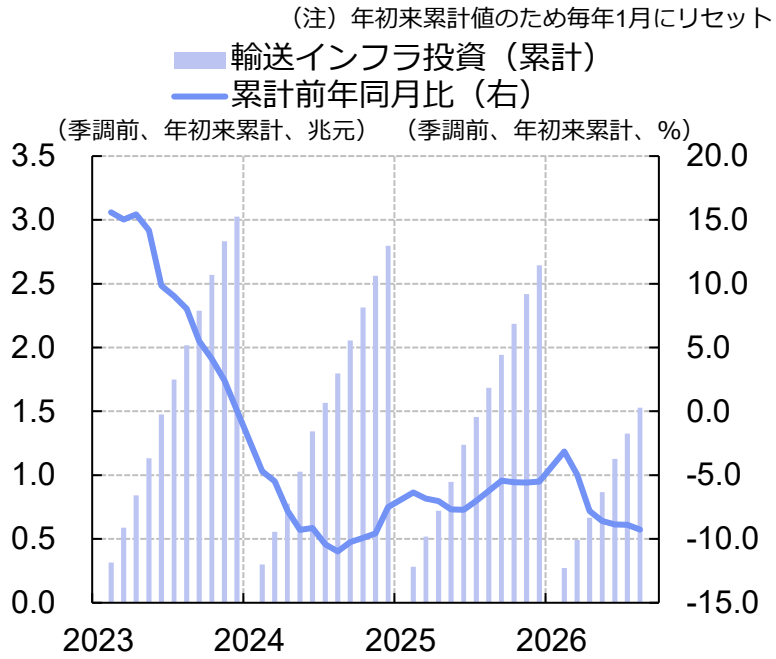
- 第三次産業の減少が顕著
- 第二次産業もマイナスに転換
- 投資の弱さが各産業に波及



（出所：中国国家統計局、BloombergよりSCGR作成）

輸送インフラ投資（累計）

- 投資額は累計で増加
- 前年比はマイナス圏で推移
- インフラ投資の回復は鈍い



（出所：中華人民共和国交通運輸部、BloombergよりSCGR作成）

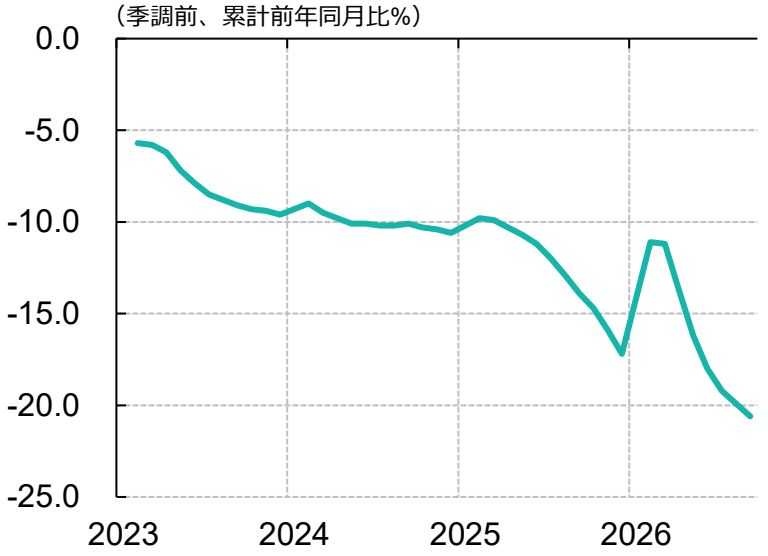
© 2026 Sumitomo Corporation Global Research Co. Ltd.

不動産市場の動向

- 不動産開発投資と住宅販売の減少が続く
- 新規建設の落ち込みが大きく、市場調整が長期化
- 住宅価格の下落が景気の重石に

不動産開発投資成長率

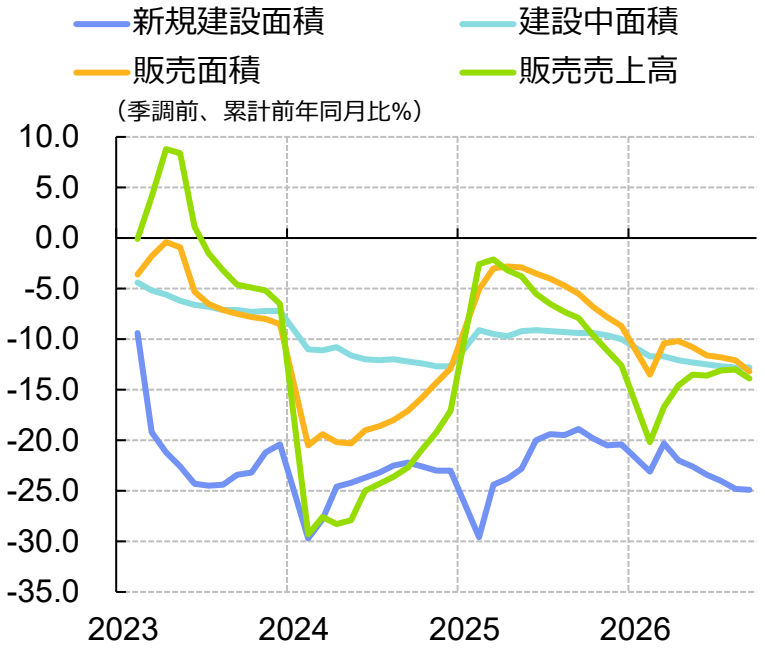
- 開発投資の減少幅が拡大
- 低迷が長期化
- 不動産投資は景気の重石



（出所：中国国家統計局、BloombergよりSCGR作成）

不動産開発段階別、販売関連の成長率

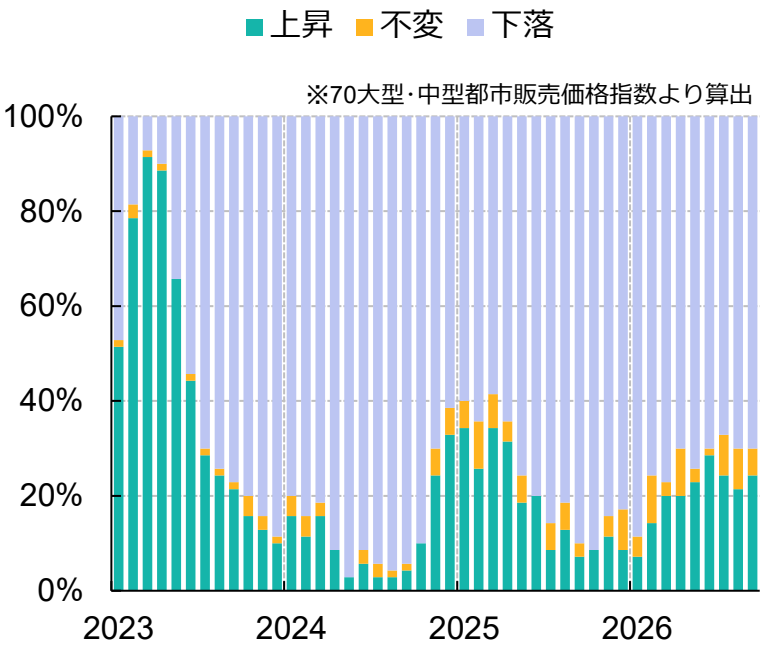
- 建設･販売関連は軒並み減少
- 新規建設の落ち込みが顕著
- 住宅需要の回復は見られず



（出所：中国国家統計局、BloombergよりSCGR作成）

住宅価格

- 価格下落都市が大半
- 上昇都市は少数にとどまる
- 住宅価格の調整が続く



（出所：中国国家統計局、BloombergよりSCGR作成）

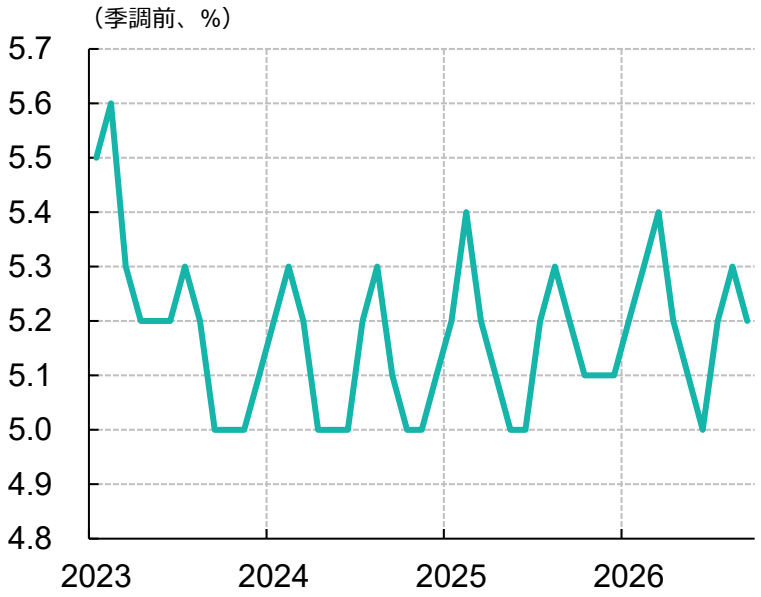
© 2026 Sumitomo Corporation Global Research Co. Ltd.

労働市場

- 都市部失業率は5%台前半で推移し、雇用環境は横ばい
- 若年層の失業率は高く、年齢層による格差が続く
- 平均労働時間は低水準にとどまり、雇用改善は限定的

都市部調査失業率

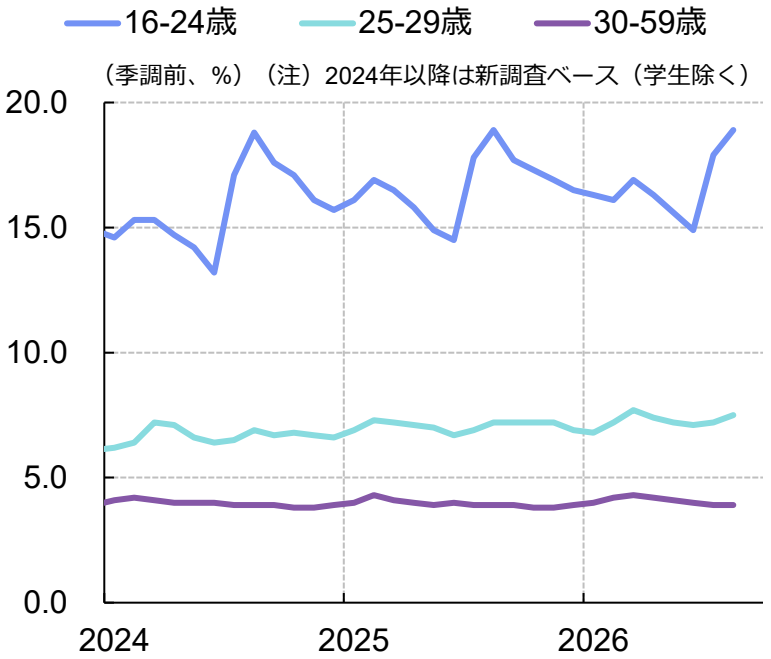
- 失業率は5%台前半で推移
- 変動幅は比較的小さい
- 雇用環境は概ね横ばい



（出所：中国国家統計局、BloombergよりSCGR作成）

年齢別都市部失業率

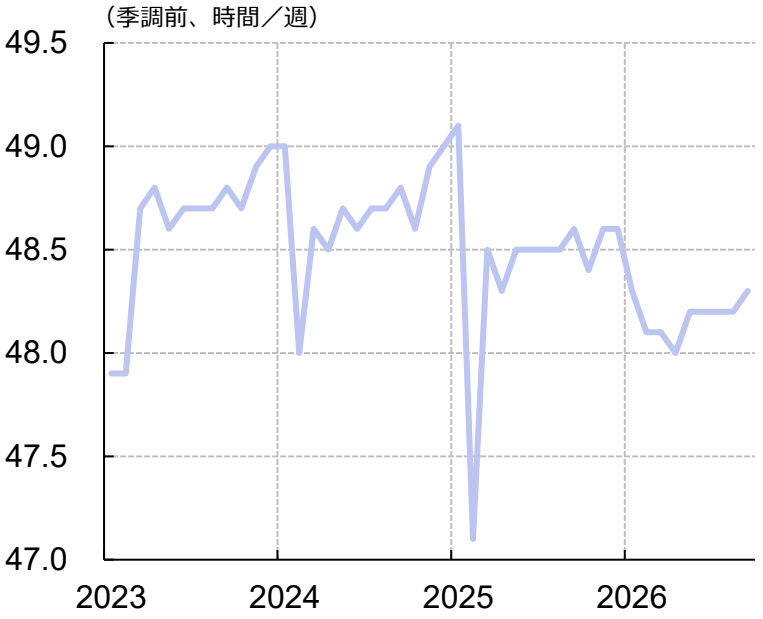
- 若年層の失業率は高水準
- 他の年齢層との格差が続く
- 若年層の雇用環境は依然厳しい



（出所：中国国家統計局、BloombergよりSCGR作成）

平均労働時間

- 労働時間は小幅に持ち直し
- 過去の水準を下回る
- 労働時間の回復は限定的



（出所：中国国家統計局、BloombergよりSCGR作成）

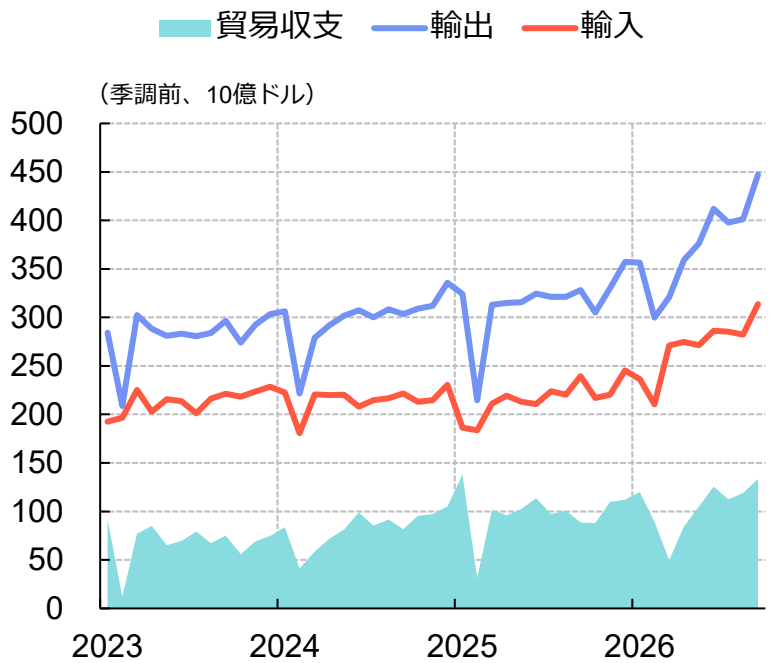
© 2026 Sumitomo Corporation Global Research Co. Ltd.

貿易動向

- 輸出入は名目金額で大幅増、貿易黒字も拡大
- 主要地域向け輸出は増加も、伸びに格差
- 価格・駆け込み要因もあり、持続性に注意

貿易収支

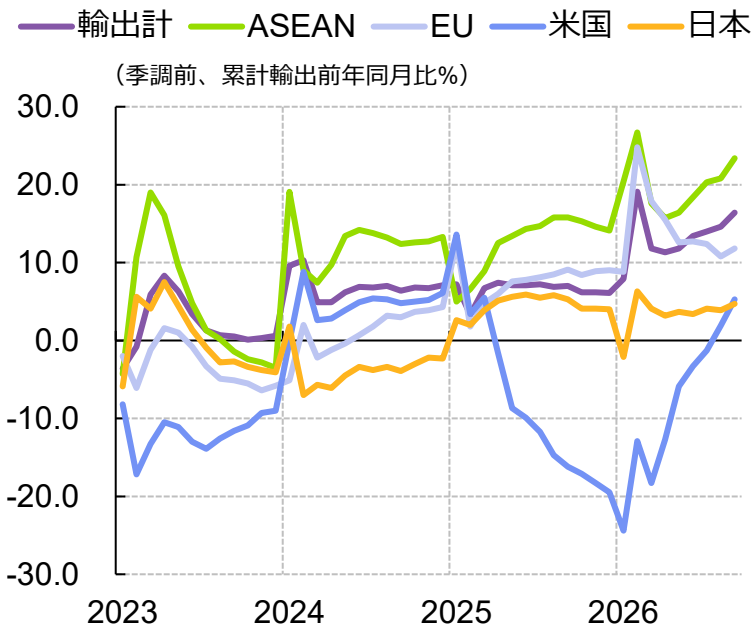
- 輸出入はともに大幅増加
- 輸出の伸びが輸入を上回る
- 貿易黒字は拡大傾向



（出所：中華人民共和国税関総局、BloombergよりSCGR作成）

地域別貿易動向

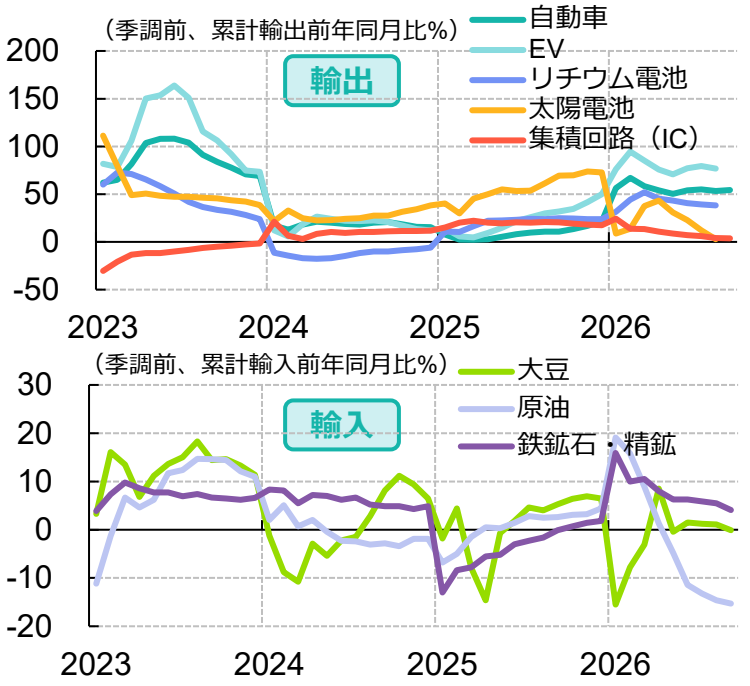
- 主要地域向け輸出が増加
- ASEAN向けの伸びが大きい
- 地域別の伸びには格差



（出所：中華人民共和国税関総局、BloombergよりSCGR作成）

輸出入の主要品目別動向

- 自動車・電池関連が輸出を牽引
- 品目別の伸びにはばらつき
- 輸出金額の増加には価格要因も



（出所：中華人民共和国税関総局、BloombergよりSCGR作成）

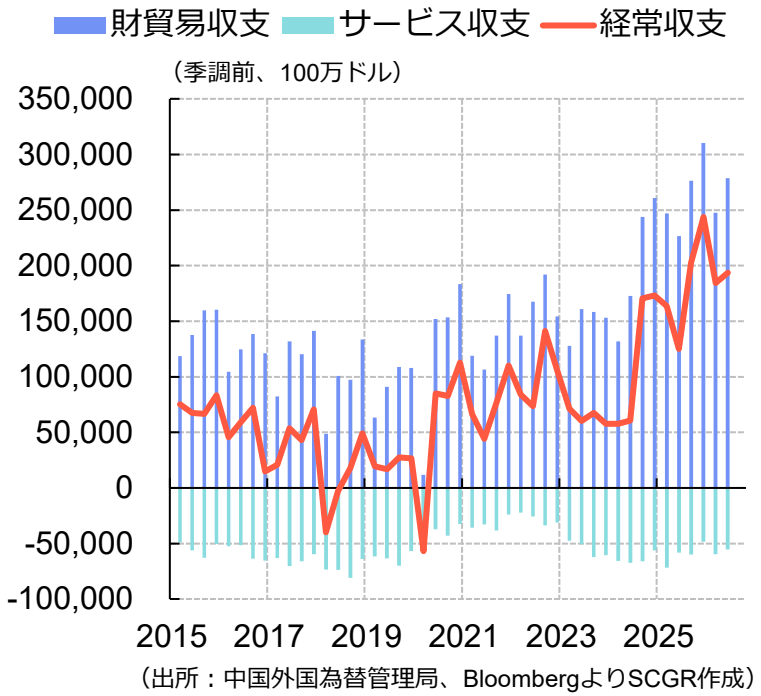
© 2026 Sumitomo Corporation Global Research Co. Ltd.

国際収支

- 経常収支は黒字を維持する一方、対内直接投資は減少
- 貿易収支の黒字が経常黒字を支え、サービス収支は赤字
- 外貨準備高は高水準を維持

経常収支

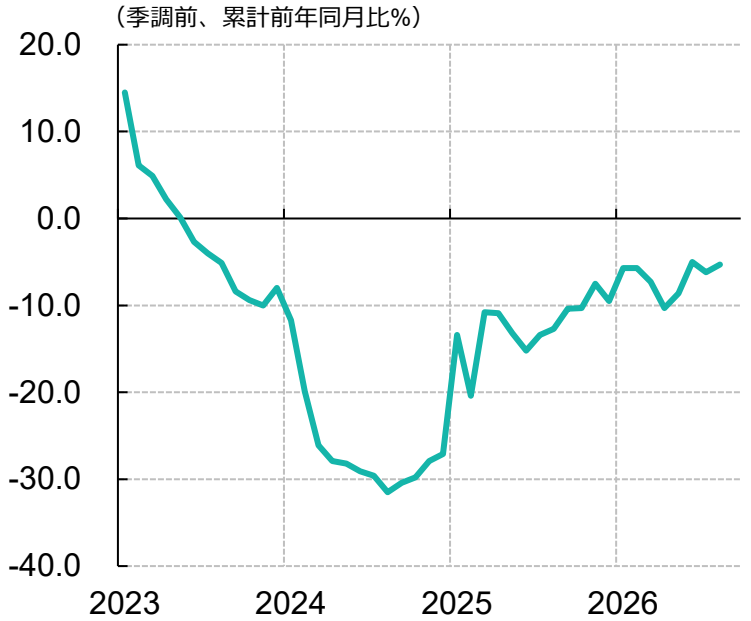
- 経常収支は黒字基調を維持
- 貿易黒字がサービス収支赤字を上回る



（出所：中国外国為替管理局、BloombergよりSCGR作成）

FDI成長率（前年同期比、実行ベース）

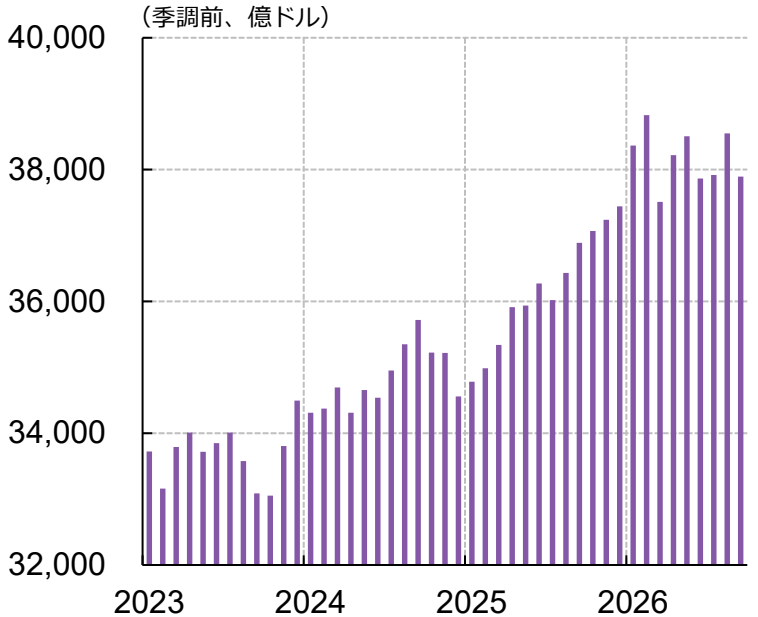
- 対内直接投資の減少が続く
- 減少幅は一時期より縮小も、投資回復には至らず



（出所：中国商務省、BloombergよりSCGR作成）

外貨準備高

- 外貨準備高は高水準を維持
- 直近はピークから小幅低下



（出所：中国人民銀行、BloombergよりSCGR作成）

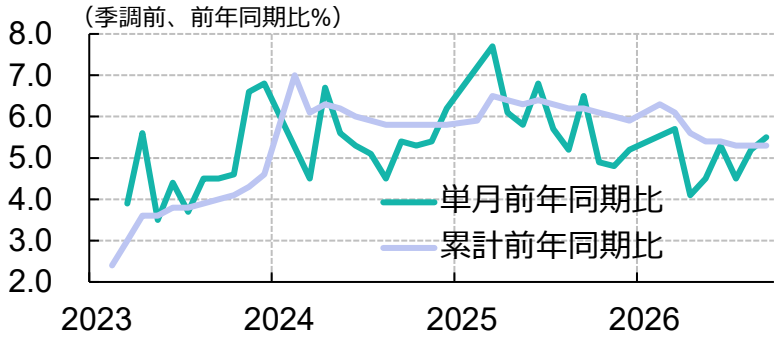
© 2026 Sumitomo Corporation Global Research Co. Ltd.

工業増加値

- 工業生産は前年比プラスを維持するも、製品別の強弱が鮮明
- 産業用ロボットやICが伸びる一方、自動車や通信機器は減少
- 生産活動は底堅いものの、業種横断的な広がりには欠ける

工業増加値成長率

- 単月の伸びはプラスを維持
- 累計の伸び率も底堅く推移
- 工業生産は底堅さを保つ



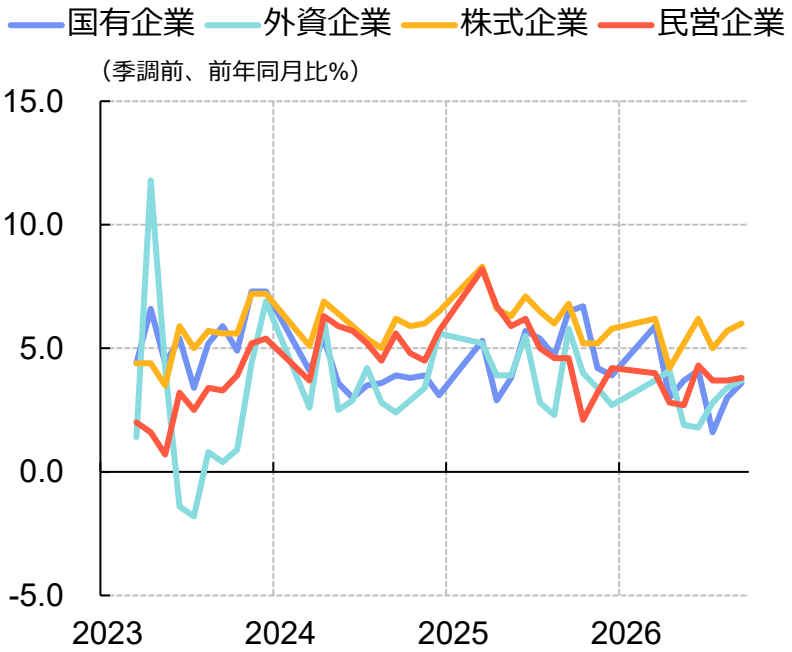
主要製品成長率（単月前年同期比）

（%）

製品	Sep-26	Aug-26
原油	2.2	0.8
石炭	-6.8	-7.7
硫酸	-12.4	-15.5
自動車	-5.7	-2.7
鉄鋼製品	-3.8	-5.5
ｾﾒﾝﾄ	-5.3	-11.7
金属切削工作機械	12.5	14.1
携帯電話	-26.9	-18.0
太陽電池	-	-12.9
銑鉄	-1.4	-3.5
粗鋼	0.1	-3.7
ﾏｲｸﾛｺﾝﾋﾟｭｰﾀ	-17.0	-25.6

企業性質別工業増加値成長率

- 企業形態による差が続く
- 株式会社の伸びが相対的に高い
- 外資・民営企業は伸びが鈍い



（出所：中国国家統計局、BloombergよりSCGR作成）

工業増加値成長率トップ5の産業（単月前年同期比）

対象年月：2026/9

産業		%
Top1	通信･ｺﾝﾋﾟｭｰﾀ･その他電子機器	16.4
Top2	特別目的機器製造	12.1
Top3	鉄道、海運、航空宇宙、その他輸送機器製造業	11.7
Top4	原油･天然ｶﾞｽ採掘	9.8
Top5	一般機械	8.5

生産量成長率トップ5の産業（単月前年同期比）

対象年月： 2026/9

産業		%
Top1	産業用ﾛﾎﾞｯﾄ	18.9
Top2	IC	18.4
Top3	新ｴﾈﾙｷﾞｰ車	16.9
Top4	金属切削工作機械	12.5
Top5	ｽﾎﾟｰﾂ用多目的車(SUV)	11.5

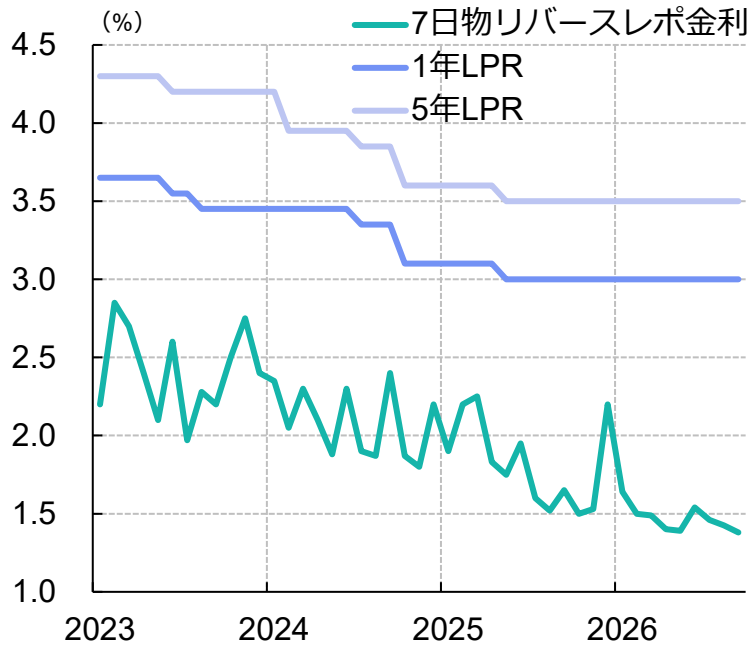
© 2026 Sumitomo Corporation Global Research Co. Ltd.

金融・為替市場

- 市場金利は低下基調をたどる一方、貸出基準金利は据え置き
- 国債利回りの低下と人民元高が進み、金融市場は緩和的
- ただし、金融環境の改善が民間の資金需要に波及したかは不透明

政策金利・短期市場金利の推移

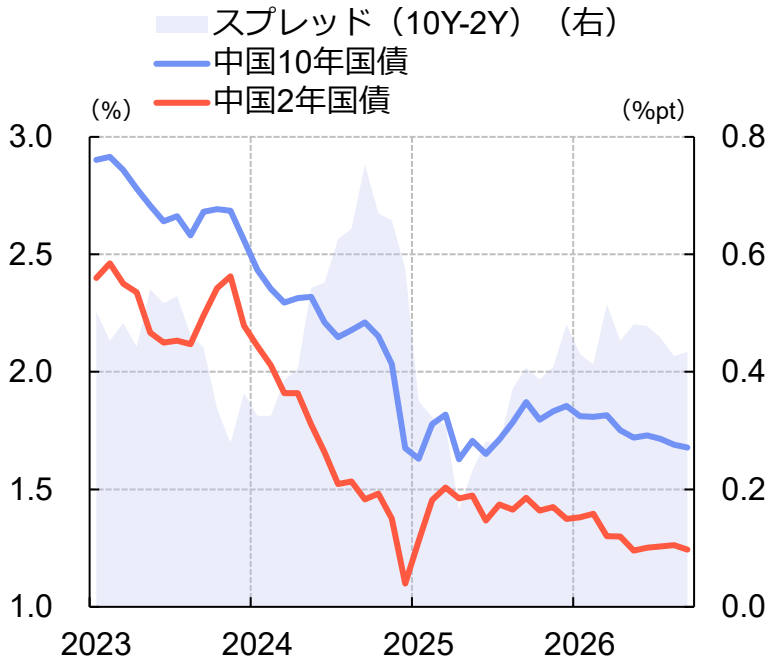
- 短期市場金利は低下基調
- LPRは低水準で据え置き
- 金利面の追加緩和は限定的



（出所：中国人民銀行、BloombergよりSCGR作成）

長期金利・イールドカーブの推移

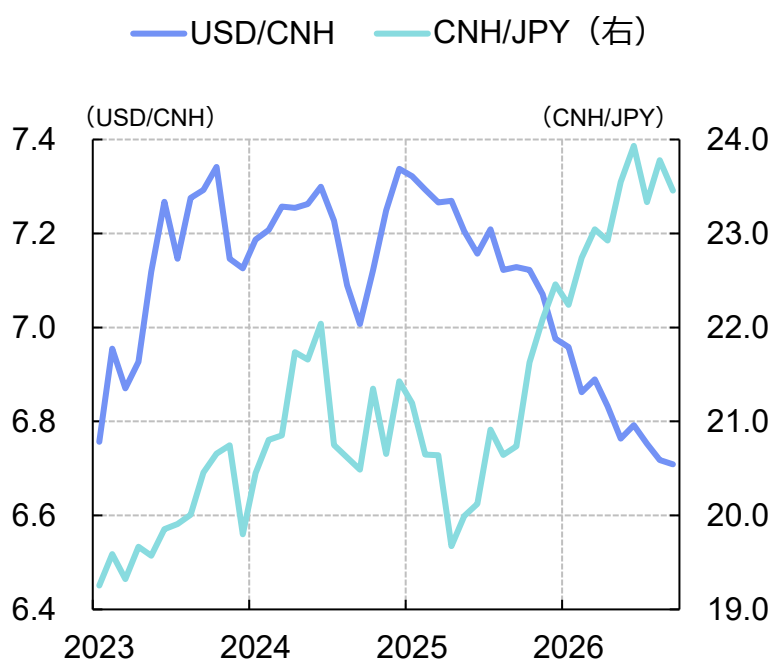
- 長短金利は共に低下基調
- 長短金利差はプラスを維持
- 長期金利は低水準で推移



（出所：BloombergよりSCGR作成）

人民元相場の推移

- 人民元は対ドルで上昇
- 対円でも元高方向が続く
- 人民元高の傾向が鮮明



（出所：BloombergよりSCGR作成）

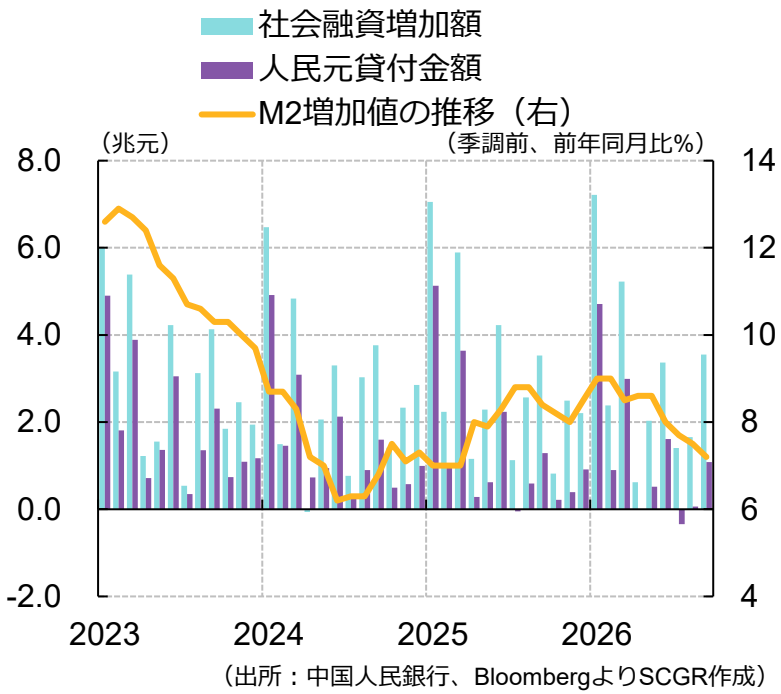
© 2026 Sumitomo Corporation Global Research Co. Ltd.

金融政策・信用状況

- 社会融資の増加が続く一方、人民元貸出の伸びは鈍い
- 企業向け融資は増加するも、家計向け融資は低調
- 信用供給の拡大も、民間資金需要は弱い

流動性供給・資金調達動向

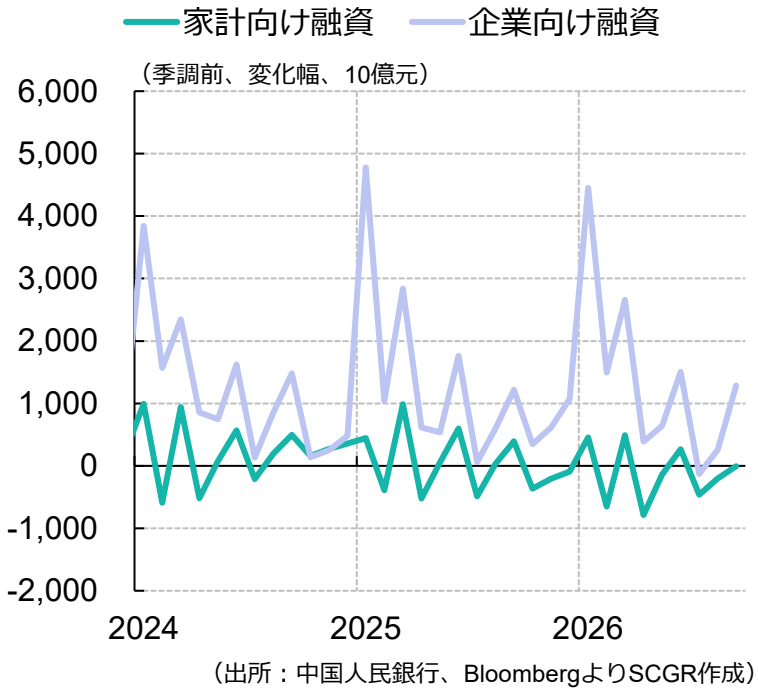
- 社会融資の増加が続く
- 人民元貸出の伸びは鈍い
- M2の伸びも低下傾向



（出所：中国人民銀行、BloombergよりSCGR作成）

企業・家計向け融資動向

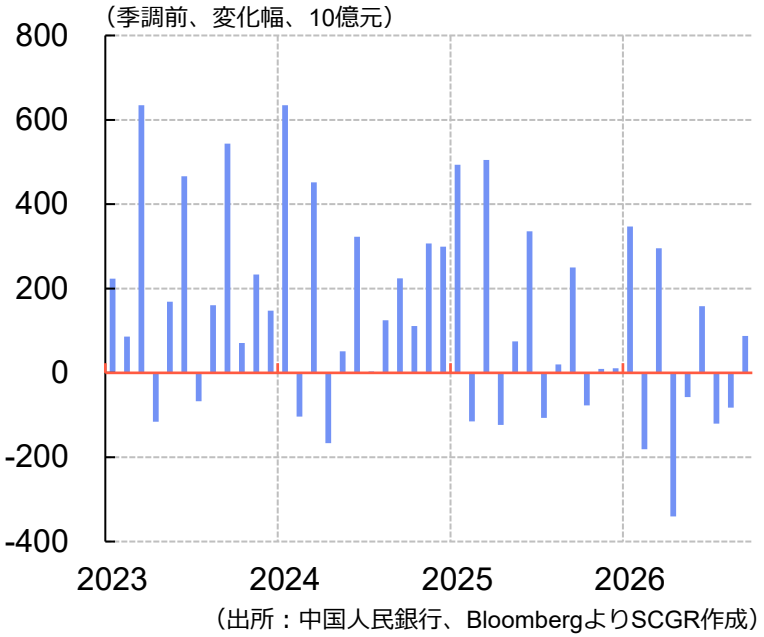
- 融資動向に部門間の差
- 企業向け融資は増加を維持
- 家計向け融資は低調



（出所：中国人民銀行、BloombergよりSCGR作成）

家計向け中長期融資

- 家計の中長期融資は低調
- マイナスとなる月も散見
- 家計の長期借入は弱い



（出所：中国人民銀行、BloombergよりSCGR作成）

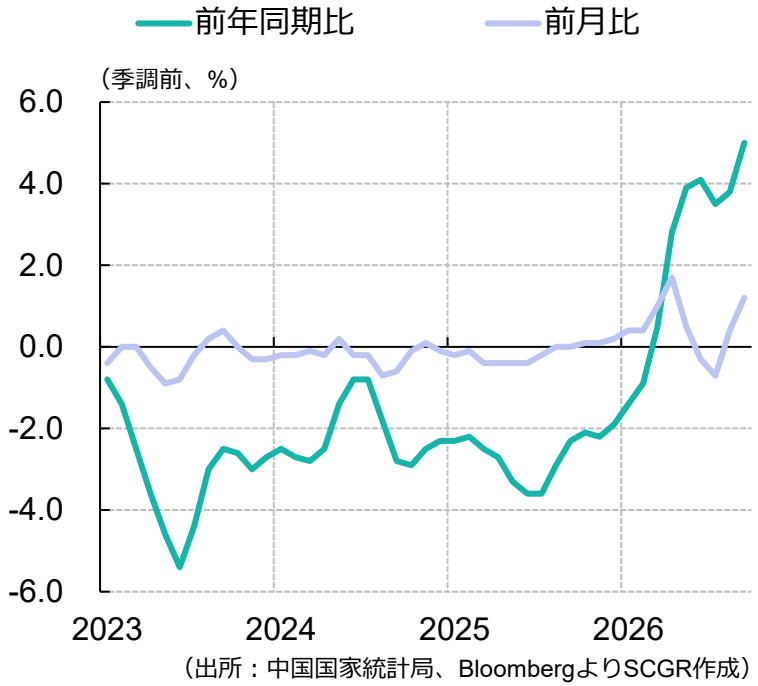
© 2026 Sumitomo Corporation Global Research Co. Ltd.

卸売物価（企業物価）

- 生産者物価は前年比・前月比とも上昇し、伸びが拡大
- 鉱山・原材料関連の価格上昇が目立ち、業種間格差が拡大
- 価格上昇は上流部門が中心で、下流への波及は限定的

生産者物価月次推移

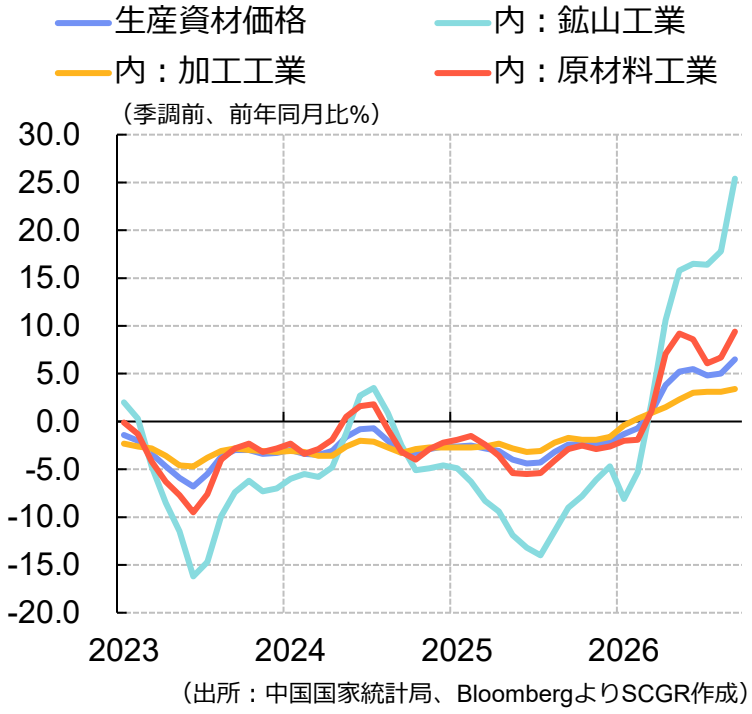
- 生産者物価は上昇基調
- 前年比の上昇幅が拡大
- 前月比もプラスに転換



（出所：中国国家統計局、BloombergよりSCGR作成）

生産資材別の前年同月比

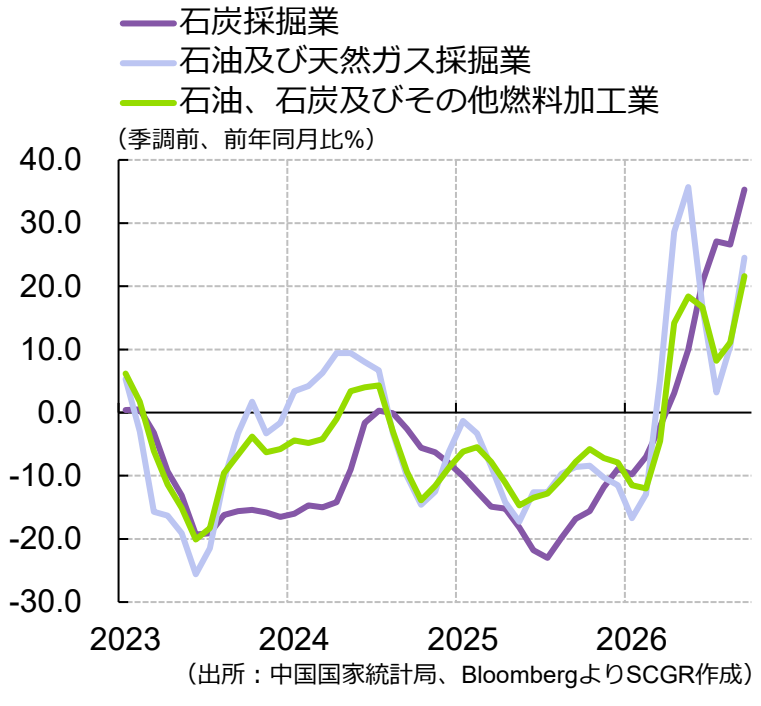
- 生産資材価格は全区分で上昇
- 鉱山･原材料関連が牽引
- 上流部門の上昇が顕著



（出所：中国国家統計局、BloombergよりSCGR作成）

分野別の前年同月比

- 資源関連分野の上昇が顕著
- 分野間の価格差が拡大
- 価格上昇は一部に集中



（出所：中国国家統計局、BloombergよりSCGR作成）

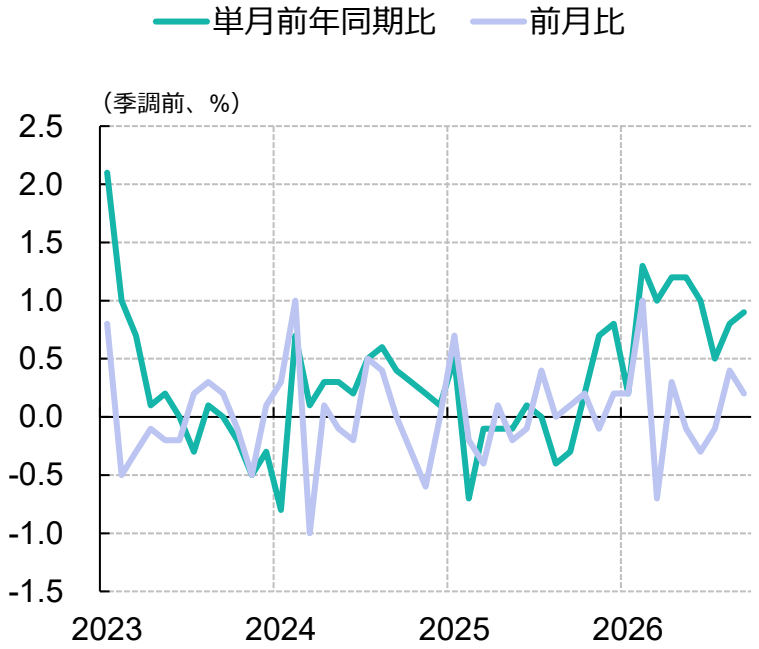
© 2026 Sumitomo Corporation Global Research Co. Ltd.

消費者物価

- 消費者物価は前年比プラスを維持
- 食品価格は下落が続く一方、品目間の価格差が大きい
- 物価上昇は一部に偏り、幅広い価格上昇には至らず

CPI月次推移

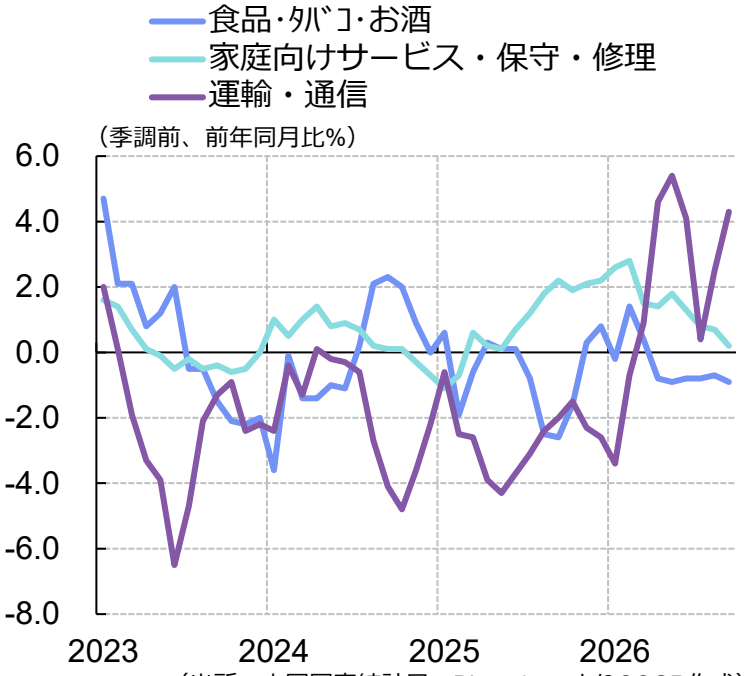
- 前年比はプラス圏で推移
- 前月比も小幅に上昇
- 物価上昇は緩やか



（出所：中国国家統計局、BloombergよりSCGR作成）

食材価格の単月前年同期比

- 食品価格は前年比マイナス
- サービス価格はプラス圏
- 品目間の価格差が続く



（出所：中国国家統計局、BloombergよりSCGR作成）

主要食品価格（前年比）

- 食品価格は品目間で差が大きい
- 生鮮野菜や豚肉は下落
- 食品全体では下落が続く

（%）

商品	Sep-26	Aug-26
食品･ﾀﾊﾞｺ･お酒	-0.9	-0.7
穀物	-0.6	-0.6
油脂	-1.1	-1.3
生鮮野菜	-8.1	-2.8
肉類	-3.7	-5.1
豚肉	-10.0	-11.8
牛肉	7.5	5.3
羊肉	6.4	6.3
水産物	0.4	-0.6
鶏卵	14.3	15.0
乳製品	-1.5	-1.4
生鮮果物	-1.5	-0.5
タバコ	-0.8	-0.7
酒類	-3.1	-2.9

（出所：中国国家統計局、BloombergよりSCGR作成）

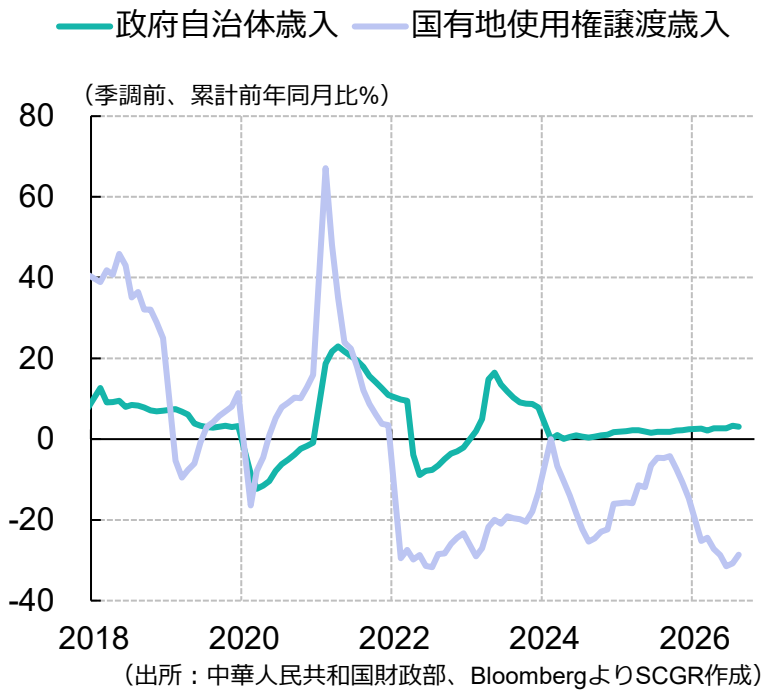
© 2026 Sumitomo Corporation Global Research Co. Ltd.

地方政府財政

- 地方債発行は高水準が続く一方、土地関連収入の減少は続く
- 借換債の発行が続き、地方政府の債務負担への対応が進む
- 地方財政は厳しく、新規投資への波及は期待薄

地方財政収入動向

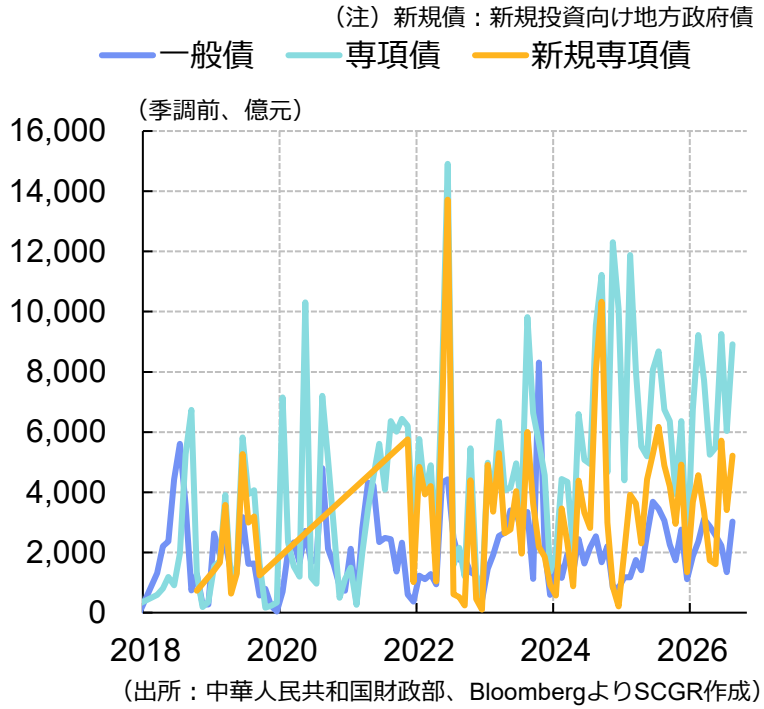
- 自主財源収入は小幅増加
- 土地使用権譲渡収入は減少
- 地方財政の厳しさが続く



（出所：中華人民共和国財政部、BloombergよりSCGR作成）

地方政府債発行動向

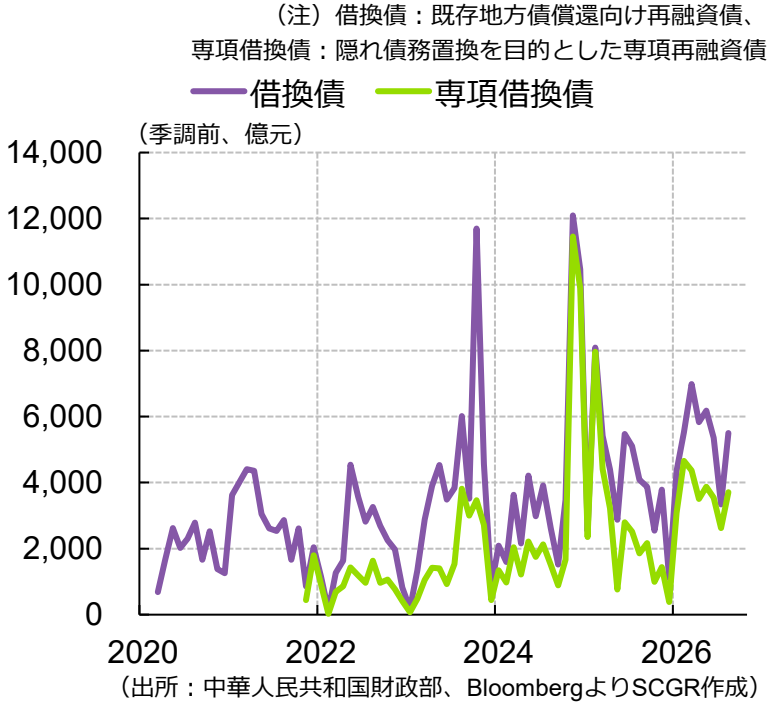
- 地方債発行は高水準で推移
- 専項債の発行額が大きい
- 発行額は月ごとに変動



（出所：中華人民共和国財政部、BloombergよりSCGR作成）

地方政府借換債発行動向

- 借換債の発行は高水準
- 地方債務の借換えが続く
- 新規投資向けとは区別が必要



（出所：中華人民共和国財政部、BloombergよりSCGR作成）

© 2026 Sumitomo Corporation Global Research Co. Ltd.